主要施策名:(4)観光・物産プロモーションの推進

事務事業本数:13

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業コード	事務事業	所管課			
						342-1	玉名圏域定住自立圏事業	観光物産課
			340-2	玉名ブランド推進事業	観光物産課			
			340-3	マスコット管理事業	観光物産課			
		(2)着地型旅行商品 開発の推進	340-4	玉名市観光振興計画事業	観光物産課			
			340-6 施設等管理運営事業 340-7 草枕の里事業 340-8 イベント誘客事業	観光物産課				
				観光物産課				
③賑わいと活力 ある産業づくり	(4)観光・物産プロモーションの推 進			観光物産課				
		(1)インバウンド事業	341-1	受け入れ態勢整備事業	観光物産課			
		の推進	341-2	情報発信事業	観光物産課			
		(2)着地型旅行商品 開発の推進	342-2	協議会等連携·支援事業	観光物産課			
		(1)インバウンド事業の推進	341-3	インバウンド推進事業	観光物産課			
		(4)玉名版DMOの	344-1	玉名版DMO構築事業	観光物産課			
		構築	340-9	金栗四三PR事業	観光物産課			

事務ふりかえりシート

《基本情報》

<u> </u>				
事務事業の名称	玉名圏域定住自立圏事	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	所管課 [2]	観光物産課
[1]			作成者(担当者)	牧野 恵大
	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり		重点
総合計画での位置付け	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進		1.2
[3]	施策区分	(2)着地型旅行商品開発の推進		□ 該当
中长の担拠	□ 市長公約			
実施の根拠 (複数回答可)	□ 法令、県·市条例等	[1
[5]	■ その他の計画【	玉名圏域定住自立圏共生ビジョン]	口 該当なし
事業区分	■ ソフト事業	□ 義務的事業 □ 建設·整備 ³	事業 □ 施設の	維持管理事業
事未达力 [6]	□ 内部管理事務	□ 計画等の策定及び進捗管理事務		
会計区分 [7]	■ 一般会計 □	特別·企業会計【	】 款 7	項 1 目 1 細目 6
《事務事業の目的》				
事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) [8]	玉名市、玉東町、和水町 く具体的取組を行う必要	打及び南関町との協議等を経て、圏域の 星がある。	将来像や協定に基づき	関係市町で連携し推進してい
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民及び観光客			
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】		現・歴史等の魅力ある地域資源や特色を 事業を行い、交流人口の増大を図る。	活用し、新しい生活様式	に対応した持続可能な広域
《事務事業の概要》				
事業期間	□ 単年度のみ	□ 単年度繰返し	■ 期間限定複数年	手度
事未粉间 【11】	【 年度】	【年度から】	【 H30 年度~	R8 年度まで】
事業主体 [12]	□国□県	□ 市 □ 民間	■ その他【 玉名	B國域定住自立圏(1市3町)】
実施方法 [13]	□ 直営 ■ 全部	『委託·請負 □ 一部委託·請負 □ 補則	助金等交付 口 その	D他【 】
事務事業の具体的内容		歴史等の魅力ある地域資源や特色を活用 した持続可能な広域(圏域)観光地域づくり	(1) ニューノーマルト	及する細事業(2)本 時代の広域(圏域)観光地域づくり事業 込み客数220万人達成誘客事業

《事務事業実施に係るコスト》

[14]

			R03年度決算	R04年度決算	R05年度決算	R06年度予算	全体計画
	事	国庫支出金	0	0	0	0	0
	業 費	県支出金	0	0	0	0	0
10.		起債	0	0	0	0	0
	 千	受益者負担	0	0	0	0	0
	Ĥ	その他	512	508	508	508	0
投 入	\sim	一般財源	4,488	16,492	16,492	16,492	0
		【16】 小 計	5,000	17,000	17,000	17,000	0
スト		職員人工数	0.17	0.18	0.29	0.29	
۲	職人	職員の年間平均給与額(千円)	5,223	5,429	5,554	5,635	
	員件	会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00	
	の費	会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)	1,632	1,382	1,325	2,374	
		【17】 小 計	888	977	1,611	1,634	
		슴 計	5,888	17,977	18,611	18,634	

3

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

	事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R03実績	R04実績	R05実績	R06計画
(1			ツアー開催数(オンライ ン・リアル共)	回	***	6	5	4
(2		バスツアーを中心に旅行商品を造成し、年度 毎の目標実送客数達成を目指す	旅行商品造成数	本	***	9	10	7

≪事務事業の成果≫ [19]

	成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R03目標	R04目標	R05目標	R06目標
	及末日宗(忠凶の数値に)	可异力应入场就势	丰区	R03実績	R04実績	R05実績	
1		圏域の公式LINEアカウント友達登録者数の増加を図り、 圏域ファンへ情報発信を行っていく。		***	***	1,000	1500
Ι'	公式LINE)カウンド及建立銀行数			560	864	1210	
	圏域入込客数	入込客数は新型コロナの影響に伴い落ち込んでいるため、誘客事業を実施し2024年度には入込客数3,000千人達	エレ	***	2,800	2,900	3000
'	- 固以八匹合奴	成を目指す。 成を目指す	十八	***	3,259	3358	

<u>《 尹 /</u>	990 多手来の評価≫			
	評価視点			判断理由
	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施で		市が実施すべき	知火幼人で中体でもフェルが印ナロン
	市が美施すべきであるが(氏间、NPOなどが美施できないか。)。		市が実施する 必要はない	観光協会で実施できることが望ましい。
必妥要当	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直		必要なし	旅行者のニーズが多様化している社会情勢に即している。
性性	社会情勢の変化により、日的(対象・息図)の見直 しは必要でないか。		必要あり	派11年の一一人が多様化している社会情労に即じている。
[20]	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はな		影響なし	市民生活に直ちに影響のあるものではないが、市内観光関連事業
[20]	事務事業を外並・廃止をした場合、印式に影音はないか。		影響あり	者に影響がある可能性がある。
	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。 未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。		達成	コロナ禍での誘客事業による一時的な効果による影響
有 効			未達成	コロノ T向 C V Iが 合 尹 未 I こよる 一 时 P I J は X I 木 I こよる 影 音
性	【細事業の適当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当 であるか。		適当	目的に即した細事業である。
[21]			不適当	日はいこれので加事来である。
	【コストの低減】【22-1】		余地なし	最低限の必要額にて実施している。
	コストの低減について、検討の余地はないか。		余地あり	RESIDENCE OF THE STATE OF THE S
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地は		余地なし	既にSNSの活用、旅行商品のWEB販売など、効率化を図り実施して
効 率	ないか。(デジタル技術の導入など)		余地あり	いる。
性	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はない		余地なし	
F003	か。		余地あり	これでは、日本にありて秋が直がている。
[22]	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討		余地なし	類似事業なし。
			余地あり	規 (の事本)なし。
公 平	受益者負担について、検討の余地はないか。 徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)		余地あり	受益者負担を求めることは事業目的にそぐわない。
性23	について検討の余地はないか。		余地なし	ス

<u> 《前回からのふりかえり</u>	<i>诘果と今後の方向性》</i>
	(前回のふりかえりの内容) 令和3年度に開設した公式LINEアカウントの友達登録者は順調に増加しており、メッセージ配信の開封率及びリンククリック率が高く、アカウントブロック数も約20%に 抑えられていることから、発信している情報と友達登録者のニーズはマッチしていると推察され、圏域に愛着を持つファンは着実に増えている。令和4年度はコロナ禍によりオンライン・リアルの両輪でツアーを実施したが、令和5年度はリアルツアー実施に振り切り、圏域への理解・愛着心の向上と通年で圏域と 関わってもらう関係性の構築を目指す。 (前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)
	公式LINEアカウントの友達登録者は順調に増加しており、メッセージ配信の開封率及びリンククリック率が高く、アカウントプロック数も約20%に抑えられていることから、発信している情報と友達登録者のニーズはマッチしていると推察され、圏域に愛着を持つファンは着実に増えている。しかしメッセージをクリックするは高いが申し込みにつながっていないケースが多く、申込件数も参加定員ギリギリであることから登録者の母数を獲得することが必要になる。
今後の方向性 【25】	□ 拡充して継続□ 執行方法の改善□ 休止・廃止□ 終了
	今年度は宿泊ツアーを実施せず、日帰りツアーのみを行う。宿泊ツアーに使用していた予算をLINE友達あてに月1クーポンorお 土産品を渡したりし、今いる友達を大事にしていき離脱率を下げるような取り組みを行っていく。

■評価責任者記入欄■

評価責任者 オンライン・リアルの両輪で圏域に愛着を持つファンに対し、関係性の構築を図ってきた。 今後近隣市町の連携協力のもと、より多くの観光客に広域観光の魅力をPRし、さらなる高みを目指す必要がある。 評価責任者(課長)の所見 【26】 伊藤 恵浩

事務ふりかえりシート

《基本情報》

WENT IN TWO								
事務事業の名称	 玉名ブランド推進事業		所管課	[2]	観光物産課			
事務事業の有称 [1]	 	ロノノンド 推進事業		作成者(担当	4者)	永田 浩二		
		基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり				重	-/-
総合計画での位置付け		主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進				施到	
[3]		施策区分						該当
		市長公約						
実施の根拠 (複数回答可)		法令、県·市条例等	ľ			1		
(5)		その他の計画【			1	□ 該当なし	ر	
事業区分		ソフト事業	□ 義務的事業 □ 建設・整備署	事業 🗆	施設の	維持管理事業		
事未込 力 【6】		内部管理事務	□ 計画等の策定及び進捗管理事務					
会計区分 [7]		一般会計 🗆	特別·企業会計【]	款 7	項 1 目 2	細	∄ 2
《事務事業の目的》								

事務事業の実施背景(どの ような問題又はニーズがあ るのか) [8]	ますます深刻化する過疎化や少子化による人口の減少、地方財政自立化促進への社会的動き、さらには厳しい財政状況のなか地域産業の振興と活性化を図るために、「玉名の逸品」を対外的に周知し認知度やイメージを向上させ販路拡大を図る必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	玉名ブランド物産協会会員、6次産業関係事業者、玉名観光協会物産販売部会
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	玉名地域の知名度アップを図り、産業振興と地域活性化を図る。

《事務事業の概要》

事業期間	□ 単年度のみ	■ 単年度繰返し		期	間限定複数年度		
争未朔间 【11】	【 年度】	【 H19 年度か	5]	[年度~	年度まで】	
事業主体 [12]		県 ■市 □	民間 □	その	の他【]
実施方法 [13]	■ 直営 □	全部委託·請負 🗌 一部委託·請	負 □ 補助金等3	を付	□ その他【]
			[15]	事	務事業を構成する	細事業(2)本	
		ここでは、 これを「玉名の逸品」として広くRPを行り 「る。また、玉名ブランドを中心に玉名で		1	玉名ブランド物産	PR事業	
事務事業の具体的内容	のPR及び販路拡大の	る。また、宝石ノブントを中心に宝石 のため、渋谷フェスティバル、大阪千里 プレゼントへの景品の提供を行う。		2	キラリかがやけ玉	名物産展事業	
[14]				3			

			R03年度決算	R04年度決算	R05年度決算	R06年度予算	全体計画
	事	国庫支出金	0	0	0	0	0
	業	県支出金	0	0	0	0	0
+ /L	費	起債	0	0	0	0	0
	~ 千	受益者負担	0	0	0	0	0
	Ä	その他	0	0	0	140	0
投 入	\smile	一般財源	1,322	4,762	6,224	7,544	0
		【16】 小 計	1,322	4,762	6,224	7,684	0
スト		職員人工数	0.42	0.57	0.97	0.97	
7	職人	職員の年間平均給与額(千円)	5,223	5,429	5,554	5,635	
	員件	会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00	
	の費	会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)	1,632	1,382	1,325	2,374	
		【17】 小 計	2,194	3,095	5,387	5,466	
		合 計	3,516	7,857	11,611	13,150	

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

	事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R03実績	R04実績	R05実績	R06計画
(1		集客が多いイベントへブース出展して、ブランド物産品をPRする	イベントへの参加回数(福岡物産 展、東京、大阪など)	口	3	6	7	7
(2	キラリかがやけ玉名物産 展事業	物産展を開催してブランド物産 品を販売する	大阪フェアへの参加業 者の件数	件	0	7	9	9
(3								

≪事務事業の成果≫ [19]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R03目標	R04目標	R05目標	R06目標
及未由保(总因00数值化/	可异力应入场就仍	丰区	R03実績	R04実績	R05実績	
1 玉名市物産展での売上	 物産展でのブランド物産品の販売額	千円	2,500	2500	5000	5200
玉石印物産展での完工	物産版でのグランド物産品の熟売額		764	4114	5145	
2						
2						

《事務事業の評価》

_《 <i>争》</i>	勞事業の評価≫			
	評価視点			判断理由
	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施で			一部、巾名義でなけれは会場の帷保が困難な場合もめるため、める
$\widehat{}$	きないか。)。		市が実施する 必要はない	程度の取り計らいが必要である
必妥要当	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直		必要なし	社会情勢の変化はあるものの、玉名ブランド推進に関する目的は変
性性	しは必要でないか。		必要あり	化していないため、見直しは必要ない
[20]	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はな		影響なし	玉名ブランドのPRができないことによって、認知度や物産品の販売
1202	いか。		影響あり	額低下の恐れがある
	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。		達成	物産展を継続して開催してきたことによる認知度の向上、固定客の
有 効	未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。		未達成	増加などにより、売上額も増加した
性	【細事業の適当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当		適当	 玉名の認知度向上のため、細事業は適当である
[21]	であるか。		不適当	上でいる。
	【コストの低減】【22-1】		余地なし	遠方の会場での物産展の在り方については、検討の余地があり、
	コストの低減について、検討の余地はないか。		余地あり	事業費を削減できる可能性がある
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地は		余地なし	物産展の依頼について取りまとめを行う際、FAX中心となっているた
効 率	ないか。(デジタル技術の導入など)		余地あり	め、メール等の活用を促すなどの余地がある
率性	【民間活力の活用】 【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はない		余地なし	可能な限り民間ノウハウを活用しており、これ以上検討の余地はな
F007	か。		余地あり	L'
[22]	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討		余地なし	類似する事業はない
	の余地はないか。		余地あり	双内)のサ末16-60・
公 平	受益者負担について、検討の余地はないか。 徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)		余地あり	現在、物産展の出店費用や旅費を全額支給することもあるが、今後は民間へ事業を移管しながら、受益者負担についても検討する余地
性 (23)			余地なし	がある

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

*	<u> 削凹からのふりかえり</u>	<i>結果と学後の万円性≫</i>
		(前回のふりかえりの内容)
前	前回のふりかえりに対して	今後、観光協会の組織の中に物産部会を設け、その中にブランド物産協会の会員や6次産業事業者、その他の物産事業者に加入を促し、事業の実施内容を検討しながら、加入事業者の商品を中心に玉名市として推進していく方向で検討する。
	見直し・改善状況	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)
	[24]	令和6年度に観光協会内に「物産販売部会」が立ち上がる予定であり、令和5年度はブランド物産協会の会員や6次産業事業者をはじめ、幅広く「物産販売部会」について情報共有を図ってきた。また、これまで玉名ブランド認定品や6次産業推奨品などそれぞれの団体ごとに行ってきた販促活動を「玉名の逸品」として統一し、PRを行っていくためのリーフレットを作成し、市内の関係事業者をはじめ、広く県内外への情報発信を行った。
	 今後の方向性	□ 拡充して継続 □ 現状のまま継続 □ 縮小して継続
	7後00万円圧 [25]	■ 執行方法の改善 □ 休止・廃止 □ 終了
	今後の方向性に対する 見直し・改善の具体的内容	今後、観光協会に「物産販売部会」を設立し、ブランド物産協会や6次産業関連事業者をはじめ、市内の生産者や事業者に広く加入を促していく。それらを「玉名の逸品」として情報発信を行い、認知度の向上、売り上げ額の増加など販路拡大を行っていく。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 にれまで販促活動を「玉名の逸品」として統一し、広く県内外への情報発信PRを行ってきた。今後、玉名観光協会に「物産販売部会」を設立し、ブランド物産協会や6次産業関連事業者をはじめ、市内の生産者や事業者に広く加入促進を図るとともに「玉名の逸品」として情報発信を行い、認知度の向上、売り上げ額の増加など販路拡大を図る必要がある。

評価責任者 伊藤恵浩

事務ふりかえりシート

《基本情報》				
事務事業の名称	マスコット管理事業		所管課 [2]	観光物産課
事務事業の有称 [1]	マスコンド日廷事業		作成者(担当者)	坂井 実優
	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり		重点
総合計画での位置付け	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進		施策 [4]
[3]	施策区分			□ 該当
	□ 市長公約			
実施の根拠 (複数回答可)	■ 法令、県·市条例等	【 玉名市マスコット「タマにゃん」の使用	用に関する規則	1
	□ その他の計画【		1	□ 該当なし
事業区分	■ ソフト事業	□ 義務的事業 □ 建設·整備 ³	事業 □ 施設の	維持管理事業
サ末区ガ 【6】	□ 内部管理事務	□ 計画等の策定及び進捗管理事務		
会計区分 [7]	■ 一般会計 □	特別·企業会計【	】 款 7	項 1 目 2 細目 14
《事務事業の目的》				
事務事業の実施背景(どの	音楽イベントマスコット人	として誕生し、平成23年度から玉名市のマ	フスコット「タマにゃん」とし	て正式に位置づけ商煙各
ような問題又はニーズがあるのか)		こゃん」を玉名のイメージアップや認知度に		
[8]				
対象				
(誰、何に対して、受益者等)	マスコット使用申請者及 	び着ぐるみ貸出申請者		
[9]				
意図	タフにゃんの差ぐるみの)貸出やマスコットの使用によって、市のF	DD活動やイメージアップ	こったげ 市内はになける
	玉名市の認知度の向上		- 内心動でイグーンチック	15 7411, 1111414161011,0
[10]				
《事務事業の概要》				
事業期間	□ 単年度のみ	■ 単年度繰返し	□ 期間限定複数组	
[11]	【 年度】	【 H19 年度から】	【 年度~	年度まで】
事業主体 [12]	□国□県	■ 市 □ 民間	□ その他【]

声光 加明	□ 単年度のみ	■ 単年度繰返し		期間	間限定複数年度		
事業期間 【11】	【 年度】	【 H19 年度から】		[年度~	年度まで】	
事業主体 [12]		」県 ■ 市 □ 民間		その	D他【]
実施方法 [13]	■ 直営 □] 全部委託·請負 □ 一部委託·請負 [] 補助金等	交付	□ その他【]
			[15]	事	務事業を構成する	細事業(1)本	
		と画や実施する音楽をはじめとした様々なイ ク		1	玉名市マスコット	管理事業	
事務事業の具体的内容		タマにゃん」の使用が適切と審査した場合には るみの使用・貸し出しを許可する。	(無 ➡	2			
[14]				3			

			R03年度決算	R04年度決算	R05年度決算	R06年度予算	全体計画
	事	国庫支出金	0	0	0	0	0
	業費	県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
	~ 千	受益者負担	0	0	0	0	0
	円	その他	0	0	0	0	0
投 入	\sim	一般財源	194	211	216	1,265	0
		[16] 小 計	194	211	216	1,265	0
スト		職員人工数	0.32	0.18	0.17	0.17	
1	職人	職員の年間平均給与額(千円)	5,223	5,429	5,554	5,635	
	員件	会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00	
	の費	会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)	1,632	1,382	1,325	2,374	
		【17】 小 計	1,671	977	944	958	
		合 計	1,865	1,188	1,160	2,223	

≪事務事業の手段と活動指標≫ [18]

事務事業を構成する細事業		事業を構成する細事業 手段(細事業の具体的内容) 活動指標 単位		単位	R03実績	R04実績	R05実績	R06計画
1	玉名市マスコット管理事業	マスコット画像及び着ぐるみの使用・貸出し・申請の審査・許可する。	使用申請審査件数 庁内使用件数	件	41	37	45	50
2								
3)							

≪事務事業の成果≫ [19]

	成果指標(意図の数値化)		計算方法又は説明	単位	R03目標	R04目標	R05目標	R06目標
			可弁カム人は武功		R03実績	R04実績	R05実績	
I	1	マスコット画像使用許可件数	マスコットの画像使用を許可した年間件数(外部)	件	30	30	15	15
ı		マスコット回家使用計り行数	マヘコグトの回隊使用を計刊した中间件数(外部)	11	27	34	16	
I	2	認知度向上	着ぐるみの市内外出動件数(庁内)	件	10	10	12	14
ı	_	心从及門工	個へのかの川内が山勤什数(J) 内)		4	4	21	

w 尹 /	勞事業の評価≫			
	評価視点			判断理由
	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施で		市が実施すべき	 玉名市民音楽祭のマスコットとして誕生し、現在は玉名市の観光振
	きないか。)。		市が実施する 必要はない	興に寄与しているため。
必妥要当	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直		必要なし	前年度と社会情勢の変化はないため。
性性			必要あり	制件技と社会情労の変化はないにの。
[20]	【休廃止の影響】【20-3】		影響なし	市内外への認知度も向上してきており、SNSのフォロワー数やキャラ
[20]	事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。		影響あり	クター同士の交流の場を通じて自治体間の合同活動につながって いる状況であるため。
	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。		達成	昨年度に比べ、出動件数が増加しているため。
有 効	成朱有様の日標は達成できたか。 未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。		未達成	昨年長に比べ、田朝作数が追加しているため。
性	【細事業の適当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当		適当	外部への露出増加を目的とした内容となっているため適当である。
[21]	日的(急因)を達成するため、桐事業の構成は過日であるか。		不適当	グドログ・Vグ路山垣から日からしたが存むなりでいるため過当である。
	【コストの低減】【22-1】		余地なし	活動費として適当である。
	コストの低減について、検討の余地はないか。		余地あり	石切貝として座当である。
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地は		余地なし	 商品以外の画像の使用については、印鑑不要としており、簡素化が
効 率	ないか。(デジタル技術の導入など)		余地あり	できているため。
性	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はない		余地なし	他自治体では、業務を外部へ委託したり、地域住民に報酬を支払いアクターを手配している地域もある。 民間のノウハウを活用すること
F003	か。		余地あり	も検討する余地がある。
[22]	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討		余地なし	類似する事業はないため。
	の余地はないか。		余地あり	双M 7 です木16/60 1/20/0
公 平	受益者負担について、検討の余地はないか。 徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)		余地あり	市民からの公募でマスコットとなったキャラクターであることから、受
性23]			余地なし	益者への負担をすることは適当ではないと考えられるため。

"	<u> </u>	日本と7次の刀円圧/				
		(前回のふりかえりの内容)				
育	前回のふりかえりに対して	着ぐるみの出動率の増加や、SNSの効果的な活用を行い、タマにゃん及び玉名市の認知度向上を図る。				
	見直し・改善状況	前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)				
	[24]	着ぐるみの出動率は増加し、SNSの定期的な更新活動により、全国的な認知度も向上している。				
	今後の方向性	□ 拡充して継続 □ 現状のまま継続 □ 縮小して継続				
	ラ後の方向性 【25】	■ 執行方法の改善 □ 休止・廃止 □ 終了				
		着ぐるみ自体の寿命や、着ぐるみの出動率向上を目標にすることに伴い今年度着ぐるみを新調する。新調した着ぐるみを効果 的に稼働できるようにも執行方法を改善していくことも検討する必要がある。				

	現在、玉名市マスコット「タマにゃん」は県内外のイベントや催し物において玉名市のPRの一役を担って	評価責任	任者
評価責任者(課長)の所見	いる。同時に全国的認知度も向上している状況である。今後もSNS等を積極的に活用し、出動回数を増	/中本	古法
[26]	やし玉名市のPRを図る必要がある。	伊藤	思石

事務ふりかえりシート

~ + -- --

《基本情報》						
事務事業の名称	 玉名市観光振興計画事業		所管課 [2]	観光物産課		
事務事業の有称 [1]	1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1	学 术	作成者(担当者)	大倉 千寿		
	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり			重点 施策 _{【4】}	
総合計画での位置付け	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進				
[3]	施策区分				□ 該当	
	□ 市長公約	•		•		
実施の根拠 (複数回答可)	□ 法令、県·市条例	等【		1		
(18 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	■ その他の計画【	第2期玉名市観光振興計画	1	口 該当なし	,	
事業区分	□ ソフト事業	□ 義務的事業 □ 建設・整備	事業 □ 施設の	維持管理事業		
事未込 力 【6】	□ 内部管理事務	■ 計画等の策定及び進捗管理事務				
会計区分 [7]	■ 一般会計 □] 特別·企業会計【	】 款 7	項 1 目 4	細目 1	
《事務事業の目的》						
事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) [8]	十八24十尺 - 東ルし/	た第1期玉名市観光振興計画から10カ年か ため、新たな観光ニーズの変化に対応した				
対象 (誰、何に対して、受益者等)	市内観光団体、市民、	行政				

《事務事業の概要》

意図

[9]

(どのような状態にしたいか) 図ることを目指す。 [10]

古光和目		□ .	単年度のみ		単年	度繰返し			期	間限定複数	数年度		
事業期間	11]	ľ	年度】		[R4	年度から	5]	[年度	~	年度まで	1
事業主体	12]		国	県 ■	市		民間		その	の他【]
実施方法	13]		直営	全部委託·請負		一部委託・請	負 🗆	補助金等交	を付	- 2	その他【		1
事務事業の具体的内容	台	策現 ②基 ③ 4 動 5	明玉名市観光振り 支援を外部委託し 大・課題の整理 本方針 体策の策定 略会議の運営 場開拓 捗管理			0		[15]⇒		務事業を相 第2期玉		田事業(1 興計画進捗)本 管理業務

地域住民や観光団体と協力して計画的かつ戦略的な観光振興を推進・展開することで「選ばれる玉名市」の実現を

			R03年度決算	R04年度決算	R05年度決算	R06年度予算	全体計画
	事	国庫支出金	0	0	0	0	0
	業 費	県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
	~ 千	受益者負担	0	0	0	0	0
40	円	その他	0	0	0	0	0
投 入	\sim	一般財源	0	5,500	0	0	0
		[16] 小 計	0	5,500	0	0	0
スト		職員人工数	0.00	0.33	0.11	0.11	
	職人	職員の年間平均給与額(千円)	5,223	5,429	5,554	5,635	
	員件の費	会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00	
	の食	会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)	1,632	1,382	1,325	2,374	
		【17】 小 計	0	1,792	611	620	
		合 計	0	7,292	611	620	

《事務事業の手段と活動指標》 [18] 単位 事務事業を構成する細事業 手段(細事業の具体的内容) 活動指標 R03実績 R04実績 R05実績 R06計画 第2期玉名観光振興計画 -観光戦略会議の実施 本市の観光を取り巻く現状の調査と、観光戦 略会議を開催し、観光振興計画を策定した。 1 4 *** 1 1 進捗管理業務 回数 2

《事務事業の成果》 [19]

3

	3 355 3 574 4 5 5 5 5 5 5						
	成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R03目標	R04目標	R05目標	R06目標
	八木田保(总囚の奴旧口)	可并为从入场机势		R03実績	R04実績	R05実績	
1							
2							
_							

** 	勞事業の評価≫			
	評価視点			判断理由
	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施で		市が実施すべき	
	きないか。)。		市が実施する 必要はない	
必妥要当	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直		必要なし	
性性	しは必要でないか。		必要あり	
[20]	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はな		影響なし	
[20]	いか。		影響あり	
	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。		達成	
有 効			未達成	
性	【細事業の適当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当		適当	
[21]	であるか。		不適当	
	【コストの低減】【22-1】		余地なし	会議の開催に際し、ほとんど費用が発生しないため。
	コストの低速について 投計の会地はないか		余地あり	云磯の州唯に际し、はこんと其用が光エしないため。
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地は		余地なし	会議参加者と事前及び日頃から計画の進捗状況等についてヒアリ
効 率	ないか。(デジタル技術の導入など)		余地あり	ングを行う等の改善を図る必要がある。
性	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はない		余地なし	すでに民間活力を活用している。
F003	か。		余地あり	りてに以間沿りを沿角している。
[22]	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討		余地なし	類似する他の事業はない。
	日的が類似する他の事業との続占にういて、検討の余地はないか。		余地あり	放阪さの思い中末はない。
公 平	受益者負担について、検討の余地はないか。 徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)		余地あり	
性23			余地なし	

<u> 《削凹からのふりかえり</u>	桁条と今後の万円性》						
	前回のふりかえりの内容)						
前回のふりかえりに対して	計画の策定は単年度であったが、今後の5年間は計画策定後の効果検証のため、年1回程度の会議を開催する。						
見直し・改善状況	前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)						
[24]	観光戦略会議を開催し、策定した計画の進捗状況や改善点について会議のメンバーで共有し、効果検証を行った。						
今後の方向性	□ 拡充して継続 □ 現状のまま継続 □ 縮小して継続						
ラ後の方向注 [25]	■ 執行方法の改善 □ 休止・廃止 □ 終了						
今後の方向性に対する 見直し・改善の具体的内容	計画の進捗状況の把握や改善点の検討について、事前に会議のメンバーや事業者への事前のヒアリング等を十分に行ったう えで会議を開催する。						

■評価責任者記入欄■

昨年は観光戦略会議を開催し、策定した計画の進捗状況や改善点について会議のメンバーで共有し、効果検証を行った。 今後、計画の進捗状況の把握や改善点の検討について会議を開催し、観光政策実現を図る必要がある。 評価責任者(課長)の所見 [26]

評価責任者 伊藤 恵浩

事務ふりかえりシート

《基本情報》									
事務事業の名称	施設等管理運営事業		所管課 [2]	観光物産課					
事物事業の有物 [1]	心故守旨理廷呂爭未		作成者(担当者)	永田浩二					
	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり			重点				
総合計画での位置付け	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進			施策 [4]				
[3]	施策区分								
	□ 市長公約								
実施の根拠 (複数回答可)	■ 法令、県·市条例等	【 観光ほっとプラザ「たまララ」条例、玉名	占市ふるさとセンタ−Y・BOX	条例等 】					
(复数四百号) [5]	□ その他の計画【		1	口 該当な	L				
事業区分	□ ソフト事業	□ 義務的事業 □ 建設・整備署	事業 ■ 施設の	維持管理事業					
事未达万 【6】	□ 内部管理事務	□ 計画等の策定及び進捗管理事務							
会計区分 [7]	■ 一般会計 □	特別·企業会計【	】 款 7	項 1 目 4	細目 2				
《事務事業の目的》									
事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) [8]	地域資源を活用し、多くがある。	の観光客に来場してもらい経済効果を生	€むとともに、資源を有す	る地域の活性化	を図る必要				
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	利用者								
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	経営状態によって業務	委託もしくは指定管理者制度導入を検討	するなど、適切な運営管	理と利用者の増	加を図る。				
《事務事業の概要》									
	口 単年度のみ	■ 単年度繰返し	口 期間限定複数名	E 使	·				

事業期間		□ 単年原	度のみ	i i	单年度	繰返し			期間	引限定複数年度			
	[11]	[年度】	[H17	年度から】		[年度~	年度まで	で】	
事業主体	事業主体 [12] □ 国 □ 県 ■ 市 □ 民間		□ その他【]					
実施方法	[13]	□ 直営	□ 全部	委託・請負 [] 一	部委託·請負	□ 補助	助金等交	付	■ その他【	指定管理	里者制度]
								[15]	事剂	务事業を構成する 約	田事業(1	5)本	
		基本協定に基 湯、草枕温泉で	・「たまララ」、Y・BOX他2施設、玉の湯、草枕温泉てんすい他5施設は指定管理制度における 基本協定に基づき、指定管理者により適切な管理運営を行う。また、Y・BOX他2施設、玉の 湯、草枕温泉でんすい他5施設については、令和10年での民営化を見据えた管理運営を行っ ていく。 ・松原海水浴場は警備・清掃等委託契約により適切な維持管理を行う。 ・小岱山ふるさと自然公園は委託により管理及び巡視活動を行う。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					•	1	観光ほっとプラザ「ナ	こまララ」指	定管理	業務
事務事業の具体的内	容	・松原海水浴場・小岱山ふるさ						\uparrow	2	小岱山ふるさと自	然公園事	業	
I	[14]	・草枕交流館、前田家別邸については本課所管の基、適切な維持管理を行う。・日嶽は日嶽公園巡視・清掃管理業務委託により、定期的な巡視及び清掃活動を行う。				行う。		3	日嶽公園管理事業	*			

≪事務事業実施に係るコスト≫

			R03年度決算	R04年度決算	R05年度決算	R06年度予算	全体計画
	事	国庫支出金	0	0	0	0	0
	業 費	県支出金	3,789	2,422	3,195	1,459	0
		起債	36,700	11,800	0	1,900	0
	~ 千	受益者負担	0	0	0	0	0
	円	その他	4,759	2,456	0	6,049	0
投 入	\sim	一般財源	85,774	45,140	54,717	30,193	0
		【16】 小 計	131,022	61,818	57,912	39,601	0
スト		職員人工数	1.15	1.28	1.65	1.65	
1.	職人	職員の年間平均給与額(千円)	5,223	5,429	5,554	5,635	
	員件の費	会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00	
	の貧	会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)	1,632	1,382	1,325	2,374	
		【17】 小 計	6,006	6,949	9,164	9,298	
		合 計	137,028	68,767	67,076	48,899	

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

_	1 100 1 111 1 111 1 111							
	事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R03実績	R04実績	R05実績	R06計画
	定管理業務	指定管理者に基本協定に基づき、 管理運営を行わせる。	開館日数	田	365	365	365	365
2	小岱山ふるさと自然公園事 業	委託により管理を行う。	丸山キャンプ場内及びビジターセンター等の点検・清掃日数	日	365	365	365	365
	日嶽公園管理事業	委託により管理を行う。	巡視回数		365	365	365	365

≪事務事業の成果≫ [19]

		成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R03目標	R04目標	R05目標	R06目標
		次末14保(忌凶の数にに)	可并为从入16批引		R03実績	R04実績	R05実績	
I	1	利用者数	たまララ、松原海岸(イベント参加者数)、小岱山ふるさと自		160,000	160,000	168,000	183000
	٠	利用有效	然公園(キャンプ場利用者数)、Y・BOXの延べ利用者数		158,553	167,351	182148	
Ī	2	利用者数	玉の湯、草枕温泉ほか5施設の延べ利	1	360,000	330,000	430,000	450,000
	2	利用有效	用者	^	320,923	430,186	437,259	

<u>《事》</u>	勞事業の評価≫			
	評価視点			判断理由
	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施で		市が実施すべき	基本的には中か美施すべきじめるか、一部施設については行来的
\sim	きないか。)。		市が実施する 必要はない	に民営化の計画あり
必妥要当	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直		必要なし	社会情勢の変化はあるものの、市の施設を適切に管理運営していく
性性			必要あり	必要があるため、見直しは必要ない。
[20]	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はな		影響なし	利用者数が減少することで、交流人口も減少し、域内の消費が低下
1201	いか。		影響あり	することにより影響がある
	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。		達成	新型コロナウイルス感染症による休館等がなく、多少ではあるが利
有効	未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。		未達成	用者数が回復した
性	【細事業の適当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当		適当	適切な運営管理と利用者増加を図るため目的は適当である
[21]	であるか。		不適当	超初な足目も左に利用さればと図るため自由の返回(のる
	【コストの低減】【22-1】		余地なし	これ以上コスト低減検討の余地はない
	コストの低減について、検討の余地はないか。		余地あり	こうのスエーバーは個人は日のアルビスのよう
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地は		余地なし	可能な限り簡素化しており、検討の余地はない。
効 率	ないか。(デジタル技術の導入など)		余地あり	では、 からは、
性	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はない		余地なし	民間事業者の自主事業等連携できるためノウハウ活用への検討余
700 3	か。		余地あり	地はある
[22]	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討		余地なし	類似事業はない
	の余地はないか。		余地あり	規
公 平	受益者負担について、検討の余地はないか。 徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)		余地あり	利用料金等個別の状況により受益者負担の検討の余地あり
- 性 (123)			余地なし	17177付並寺 四州の1777月11日 1717日 17

《前回からのふりかえり	結果と今後の方向性≫
	(前回のふりかえりの内容)
	松原海岸については、引き続き指定管理者と連携を取りながら、活用推進に向け諸々の整備を行っていく。また、玉の湯や草 枕温泉てんすいほか5施設、Y・BOXほか2施設については、令和10年度の民営化を見据え継続して検討を行っていく。また、そ の他の施設においては適切に維持管理を行う。
見直し・改善状況	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)
[24]	玉の湯や草枕温泉でんすいほか5施設、たまララ、Y・BOXほか2施設については、令和10年度の民営化を見据えた管理運営を行いつつ、指定管理の更新を行った。 錦松原海岸関係については、海岸全体の活用計画を定め整備に着手した。指定管理者の自主事業で行っているイベントやキャンプ・BBO利用の効果により、利用者 数も増加している。施設の改修については、財源や行程等について関係団体と協議を行っ、ふるさと自然公園については、委託業者による適切な維持管理により、 キャンプ・登山利用者共に増加傾向。日嶽については、経年劣化している遊歩道の階段部分について、県補助金を活用して改修を行った。
今後の方向性	□ 拡充して継続 ■ 現状のまま継続 □ 縮小して継続
ラ後の万円住 [25]	□ 執行方法の改善□ 休止・廃止 □ 終了
今後の方向性に対する 見直し・改善の具体的内容	玉の湯や草枕温泉でんすいほか5施設、たまララ、Y・BOXほか2施設については、令和10年度の民営化を見据え継続して検討を行っていく。また、その他の施設においては適切に維持管理を行う。 舗松原海岸関係については、施設の指定管理業務や海岸全体の整備など業務自体が煩雑なものになっているため別の事務事業として管理し、施設の改修や整備に ついて計画どおり進めていくと共に来訪者数の増加に向け指定管理者とイベントやキャンプ・BBO運営について改善を行うよう協議を行っていく。 日掛については、今後も県の補助金を活用し遊歩道の経年劣化箇所の解消に努める。小岱山については、今後も利用者が安全に利用できるよう適正管理を委託業

■評価責任者記入欄■

本の途や事状温泉でんずいほから施設、たまララ、V-BOXほかと施設については、令和10年度の民害化を見摂え継続して検討を行っていく。また、その他の施設においては適切に維持管理を行う。 級松海海洋開稿については、施設の改修や登録について計画とおど進めていくと共に未拾者数の増加に向け指定管理者とイベントやキャンプ・BD3連言こついて適参を行うか協議を行っていく。 日銀については、今後も最の補助を支託用、退歩道の経年を化能所の解析にある。 から出いては、今後も利用者が安全に利用できるよう道正管理を受託者代に添加する。 評価責任者(課長)の所見 【26】

評価責任者 伊藤 恵浩

事務ふりかえりシート

《基本情報》				
事務事業の名称	草枕の里事業		所管課 [2]	観光物産課
事物事業の有物 [1]	年代の主事末		作成者(担当者)	大倉 千寿
	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり		重点
総合計画での位置付け	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進		施策 [4]
[3]	施策区分			□ 該当
中华《扫描	□ 市長公約			
実施の根拠 (複数回答可)	■ 法令、県·市条例等	【 玉名市草枕交流館条例、前田家別	邸条例]
[5]	□ その他の計画【]	□ 該当なし
事業区分	■ ソフト事業	□ 義務的事業 □ 建設・整備	事業 □ 施設の	維持管理事業
[6]	□ 内部管理事務	□ 計画等の策定及び進捗管理事務		
会計区分 [7]	■ 一般会計 □	特別·企業会計【	】 款 7	項 1 目 4 細目 3
《事務事業の目的》				
事務事業の実施背景(どの	玉名市天水町にしかな	い地域資源を最大限に活用し、地域の活	5性化及び観光客誘客を	図り魅力ある観光地域づくり
ような問題又はニーズがあるのか) [8]	を行うことが必要である			
[0]				
対象	市民及び観光客			
(誰、何に対して、受益者等)	川氏及い観儿各			
[9]				
意図	草枕の里を適切に管理	することにより、訪れる観光客の満足度	やイメージを向上させ「ま	た来たくなる」リピーターの
(どのような状態にしたいか) 【10】	増加を図る。			
《事務事業の概要》	l			
《 <i>争枒争未以慨安》</i>	□ 単年度のみ	■ 単年度繰返し	□ 期間限定複数4	
事業期間		■ 単平及線返し 【 H17 年度から】	□ 期间限足後数- 「 年度~	
[11] 事業主体 [12]		■ 市 □ 民間	→ FQ (**) □ その他【	十尺より
実施方法 [13]			助金等交付 口 その	カ他『 1
<u> </u>		, 200 m2 0 m2		プロス
	会計年度任用職員を配置	置して適切な管理運営を行う。	101 デカデ木で円が	4.7.0小叫于木、1/个

声		単年度のみ	■ 単年度	繰返し		期間	閒限定複数年度		
事業期間 【11】	ľ	年度】	【 H17	年度から】	ľ		年度~	年度まで】	
事業主体 [12]		国 □ 県	■市	□ 民間		そσ.	他【		1
実施方法 [13]		直営 □ 全部	委託·請負 🔲 一部	部委託·請負 🔲 🧵	補助金等交	付	□ その他	Ţ]
	۵:	シケー・	て盗切む笠田宮覚え	+ 4= =	[15]	事務	8事業を構成す	る細事業(1)本	
	·施 た、	計年度任用職員を配置し 設の維持管理においてし 維持管理を実施する中で	は有効活用を図りなか で、漱石保存会の支援	がら維持管理を行う。 爰を受け雑草の除去		1	草枕交流館•前	田家別邸運営事業	ŧ
事務事業の具体的内容		、の剪定等を行っている。 fっている。	。この漱石保存会に対	付しては、補助金交付	4 ⇒	2			
	•天	水地域の観光関連事業		く・草枕の里観光協議	義				
[14]	会」	の事務局的な機能も有し	している。			3			

			R03年度決算	R04年度決算	R05年度決算	R06年度予算	全体計画
	事	国庫支出金	0	0	0	0	0
	業	県支出金	0	0	0	0	0
	費	起債	0	0	0	0	0
	「 千	受益者負担	0	0	0	0	0
	円	その他	0	0	0	10	0
投入	\sim	一般財源	3,168	3,920	5,454	3,257	0
		[16] 小 計	3,168	3,920	5,454	3,267	0
スト		職員人工数	0.18	0.40	0.32	0.32	
Ι .	職人	職員の年間平均給与額(千円)	5,223	5,429	5,554	5,635	
	員件の費	会計年度任用職員人工数	4.34	4.34	3.00	3.00	
	の食	会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)	1,632	1,382	1,325	2,374	
		【17】 小 計	8,023	8,170	5,752	8,925	
		合 計	11,191	12,090	11,206	12,192	

≪事務事業の手段と活動指標≫ [18]

=	事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R03実績	R04実績	R05実績	R06計画
	草枕交流館·前田家別邸 運営事業	草枕交流館を拠点に前田家別邸等、地域資源 を活かしたイベントを行う。	草枕交流館開館日数	田	226	307	310	308
2								
3)							

≪事務事業の成果≫ [19]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明 単		R03目標	R04目標	R05目標	R06目標
风末阳保(总因の数值化)	可异刀丛人は就切	単位	R03実績	R04実績	R05実績	
1 草枕交流館来館者数	草枕交流館の延べ来館者数	1	2000	2000	5000	5000
1 早仇又加路木路有效	早仇文派品の延べ未貼有数	^	1381	2976	3398	
2						

《 學 剂	<i>勞事業の評価≫</i>			
	評価視点			判断理由
	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施で			将来的に玉名観光協会などに指定管理での運営をR6・7年で検討を
\sim	きないか。)。		市が実施する 必要はない	行いR8年度を目途に方向性を決定する。
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直		必要なし	 社会情勢が変化しても、目的が変わるものではないため。
	しは必要でないか。		必要あり	III III III XIII XIII XIII XIII XIII X
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はな		影響なし	 交流人口の減少により、域内の消費が低下する。
1-02	いか。		影響あり	2/6/1-0///2/1-0-//-2/1-0/112/0 B1 / 00
	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。		達成	相対的な来館者数は前年度比114%増だったが、コロナ禍前の水準
有効	未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。		未達成	に戻っていない。
性	【細事業の適当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当		適当	 目的を達成するための構成として適当である。
[21]	であるか。		不適当	and the state of t
	【コストの低減】【22-1】		余地なし	 必要最低限のコストで実施しており、低減する余地はない。
	コストの低減について、検討の余地はないか。		余地あり	
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地は		余地なし	 執行過程はすでに簡素化しており、低減する余地はない。
効 率	ないか。(デジタル技術の導入など)		余地あり	7772 E10 7 C1 - E1777 E10 C00 7 E10 M 7 G 7 E10 C00 6
性	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はない		余地なし	玉名観光協会を指定管理者にするなど民間施設のノウハウ活用検
[22]	か。		余地あり	討の余地がある。
[22]	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討		余地なし	 類似事業はない。
	の余地はないか。		余地あり	ARM TAIN W 0
公 平	受益者負担について、検討の余地はないか。 徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)		余地あり	草枕交流館や前田家別邸の見学料等の徴収を検討する余地はあ
	について検討の余地はないか。		余地なし	ి

《前回からのふりかえり結果と合後の方向性》

11	削凹からいふりかんり	6余Cラ後のカ内性》
į		(前回のふりかえりの内容) R8年度を目途に引き続き、天水地域への県内外からの誘客を促す事業を実施し、併せて指定管理者制度導入に向け、地元や 関係各所と十分な協議を行ったうえで、今後の市としての方針を検討していく。
,	見直し・改善状況	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)
		さらなる天水地域への誘客を促すために関係各所と連携した事業の展開は検討しているが、指定管理者制度導入に向けた協 議等はできていない。
	へ後の ナ ウ性	□ 拡充して継続 □ 現状のまま継続 □ 縮小して継続
	今後の方向性 【25】	■ 執行方法の改善 □ 休止・廃止 □ 終了
	今後の方向性に対する 見直し・改善の具体的内容	地元や関係各所と協議を行い、指定管理者制度導入に向けた協議を行う。また、熊本市等近隣自治体とも連携した事業の展 開を検討する。

	今後も引続き地元や関係各所と協議を行い、指定管理者制度導入に向けた協議を行う必要がある。ま	評価責任者
評価頁仕有(誄長)の所見	っても可能されたで国际合所と励識を行いて、相定管理有前及等人に同じた励識を行う必要がある。よた、熊本市等近隣自治体とも連携した事業の展開を進める。	伊藤 恵浩
[26]		ו אמויעו

事務ふりかえりシート

《基本情報》

<u> </u>														
事務事業の名称		ベント誘客事業					所管認	果 [[2]	観光物]産課			
事務事業の有物 [1]		ヘンド助合争未				作	成者(担	当者)		徳山 佑麻				
		基本目標(章)	③賑わいと活力ある産	業づく	(IJ								重点	
総合計画での位置付け		主要施策(節)	(4)観光・物産プロモー	ーション	の推進								施策	[4]
[3]	,	施策区分												亥当
		市長公約												
実施の根拠 (複数回答可)		法令、県·市条例等	[1			
(IXXIII - 17)	ם	その他の計画【]		該当	iなし	,	
古米区八		ソフト事業	□ 義務的事業		建設•整備區	事業		施討	殳の糸	維持管	理事業	美		
事業区分 【6]	ם	内部管理事務	□ 計画等の策定及び	進捗	管理事務									
会計区分 [7]		一般会計 🗆	特別·企業会計【]	款	7	項 1	目	4	細目	4
《事務事業の目的》	-													
事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) [8]	客	名市の観光振興戦略 を促すことで、地域 <i>の</i>	るとして、数多くある観光)活性化を図る必要があ	資源を る。	と活かした態	≛力ある	るイベント	〜を開 [∙]	催す	'ବ=୮୮	こより、	、観	光客の	誘
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9		民及び観光客												

N	事.	数.	車:	些/	n	ИД.	壐	N
"	#	131 =	77 2	æι	ノ1	ш.	æ.	/

意図 (どのような状態にしたいか)

[10]

市光和田			単年度のみ			単年度	繰返し			期間	間限定複数年度		
事業期間	[11]	ľ	年度】		[H17	年度から	5]	ľ		年度~	年度まで	•]
事業主体	[12]		国] 県		市		民間		その)他【]
実施方法	[13]		直営] 全部委託・	請負	□ 一指	部委託•請1	負 ■ 補足	助金等交	付	□ その他【]
			名大俵まつりや						[15]	事剂	8事業を構成する	·細事業(10) 本
		る。	を付する。また、3 名温泉あったか!					-		1	玉名大俵まつり	事業	
事務事業の具体的内	内容	•夏	を援をしている。 目漱石ゆかりの いる。	地である天水均	地区で	のウォー	-キングイベ	いとを実施	⇒	2	高瀬裏川花しょ	うぶまつり事	業
	[14]	٠Ľ٠	。 ーチサッカー大会 を援をしている。	きやアウトドアス	スポー	ツ、トレィ	(ルラン等の	の開催、後		3	山田の藤PR事	 業	

さまざまなイベントを実施することで、多くの観光客にきてもらい、玉名市の経済効果を生み活性化を図る。

			R03年度決算	R04年度決算	R05年度決算	R06年度予算	全体計画
	事	国庫支出金	0	0	0	0	0
	業 費	県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
	ー 千	受益者負担	0	0	0	0	0
	円	その他	0	0	0	0	0
投 入	\sim	一般財源	3,624	9,017	19,081	19,664	0
		【16】 小 計	3,624	9,017	19,081	19,664	0
スト		職員人工数	0.85	1.13	1.20	1.20	
1.	職人	職員の年間平均給与額(千円)	5,223	5,429	5,554	5,635	
	員件	会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	1.00	1.00	
	の費	会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)	1,632	1,382	1,325	2,374	
		【17】 小 計	4,440	6,135	7,990	9,136	
	<u> </u>	슴 計	8,064	15,152	27,071	28,800	

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

	事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R03実績	R04実績	R05実績	R06計画
(1) 夫冬天侯王つりま辛		実行委員会、執行部会 の開催回数	口	10	10	10	10
(② 高瀬裏川花しょうぶまつり 事業	実行委員会に補助金を交付する。併せて宣伝 活動や案内所等の受け入れ業務を行う。	イベント開催期間	日	0	16	16	16
(③ 山田の藤PR事業	メディア媒体に対し事業のPR を行う。	イベント開催期間	日	0	15	14	15

《事務事業の成果》 [19]

战用 华捶		成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明 単		R03目標	R04目標	R05目標	R06目標
	八木田伝(忌凶の奴旧化)				R03実績	R04実績	R05実績	
	1		玉名大俵まつり(15000人)、高瀬裏川花しょうぶまつり (111000人)、草枕ウォーキング(315人)の合計観光客数。()内はR5年度の実績。		210,000	100000	130000	130000
					70	119276	126315	
ľ	2	スポーツツーリズム参加者数	ビーチサッカー(200人)、ウォーターサバイバルゲーム(300人)、トレイルラン(371人)、マラニック(172人)の合計参加者	ı	1,000	600	800	1100
4	2	へか ファックムジ加有奴	数。()内はR5年度の実績。	^	229	730	1043	

<u>《事》</u>	《事務事業の評価》										
	評価視点			判断理由							
	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施で		市が実施すべき	中の中心的な行事であり、まつりの成り立らや歴史的な背景を中か							
$\hat{}$	きないか。)。		市が実施する 必要はない	中心となって伝えていく姿勢が重要であるため。							
必妥要当	社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直		必要なし	花しょうぶまつり、大俵まつりは市の中心的なまつりである またその他のイベントはスポーツツーリズム等の推進を目的として							
性性			必要あり	いる。							
[20]	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はな		影響なし	市の対外的なブランディングの喪失及び、市外から玉名への来訪機							
1202	いか。		影響あり	会を喪失する可能性があるため。							
	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。		達成	各まつり、イベント共に天候にも恵まれ多くの来場があったが、目標							
有効			未達成	には届かなかった。							
性	【細事業の適当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当		適当	経済効果を生むためには、大前提として多くの方に来場していただく ことが重要である。そのため、細事業をイベントや行事で構成するこ							
[21]	であるか。		不適当	とは適当である。							
	【コストの低減】【22-1】		余地なし	ウォーターサバイバルやビーチサッカーの委託料については、財源 も含めた民間での完全自走化を目標としており、達成できれば市か							
	コストの低減について、検討の余地はないか。		余地あり	らの委託料を削減できると考える。							
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地は		余地なし	各種競技関係については、申込をWEBにシフトすることで、事務の							
効 率	ないか。(デジタル技術の導入など)		余地あり	簡素化を図ることができる。							
性	【民間活力の活用】 【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はない		余地なし	各まつりやイベントは実行委員会や民間のノウハウ・助言をもらいな							
F003	か。		余地あり	がら実施している。							
[22]	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討		余地なし	検討の余地はない。							
	の余地はないか。		余地あり	大日の赤色はない。							
公 平	受益者負担について、検討の余地はないか。		余地あり	各イベントに応じて、競技に見合った参加費等を徴収している							
性 (<u>*</u> 23)	徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額) について検討の余地はないか。 ■ 余地			ロコーンコンルので、元1以下元ロンに参加良中では4次のでいる							

<i>≪削凹からのふりかえり</i> 煮	《削回からのふりかえり結果と今後の方向性≫								
	(前回のふりかえりの内容)								
前回のふりかえりに対して	新型コロナウイルスが5類感染症になったことを受け、行動制限等がなくなったため、よりいっそうの誘客と内容の充実を図る。								
見直し・改善状況	前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)								
	大俵まつりについては新たな競技を企画・実施した。ウォーターサバイバルについては、早めの参加募集やこれまで配付を行っていなかった学童施設などへのPRを 行った。新型コロナが起因となっていた行動自粛の流れなどが無くなったこともあり、成果指標に掲げているすべてのまつり・イベントについて、来場者数や参加者数は R4年度と比較し増加した。								
今後の方向性	□ 拡充して継続 □ 現状のまま継続 □ 縮小して継続								
- 7後の万両圧 [25]	■ 執行方法の改善 □ 休止·廃止 □ 終了								
今後の方向性に対する 見直し・改善の具体的内容	来場者数の増加につながる活動は現状のまま継続するが、事業内容を今一度精査しながら費用対効果に見合った取り組みを 行っていきたい。								

	来場者数の増加はもちろんのこと滞在時間を延ばす手法や地域にお金が落ちる仕組みづくりを構築し、	評価責任者
評価責任者(課長)の所見	さらに費用対効果を意識したイベントの実施が必要と考える。	丹萨 吉进
[26]		伊藤 恵浩

事務ふりかえりシート

《基本情報》

<u> </u>										
事務事業の名称	平	受け入れ態勢整備事業			所管課	[2]	観光物	産課		
[1]		文の人化の表示を開発来			作成者(担当者)		髙田 千織			
総合計画での位置付け		基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業で	づくり					重点 施策	-
		主要施策(節) (4)観光・物産プロモーションの推進								L 14
[3]		施策区分	(1)インバウンド事業の推進						該当	
		市長公約								
実施の根拠 (複数回答可)		法令、県·市条例等	Ţ					1		
(5)		その他の計画【				1		該当な	L	
事業区分		ソフト事業	□義務的事業□	建設・整備	事業 □	施設の	維持管	理事業		
サ末ムカ 【6】		内部管理事務	□ 計画等の策定及び進	埗管理事務						
会計区分 [7]		一般会計 🗆	特別·企業会計【]	款 7	項 1	目 4	細目	5
≪事務事業の目的≫										

事務事業の実施背景(どの ような問題又はニーズがあ るのか) [8]	観光客が求める多種多様なニーズに対応するため、市民、観光関係団体、行政が一体となって受け入れ態勢の整備を行う必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民及び観光客
	玉名市ならではの着地型旅行商品の開発および観光ウェブサイトの充実図ることにに加えて、市内18宿泊施設に対する感染症対策の認証を継続することで、リピーターの増加を図る。

《事務事業の概要》

事業期間	□ 単年度のみ	■ 単:	年度繰返し		期間	引限定複数年度		
事未期 间 【11】	【 年度	[⊦	H17 年度から】	[年度~	年度まで】	
事業主体 [12]	□国	□県■市	□ 民間		その	D他【		1
実施方法 [13]	□ 直営	□ 全部委託·請負 ■	一部委託·請負 🛚 🗎	補助金等交	を付	□ その他【]
				[15]	事系	务事業を構成する 線	細事業(5)本	
		多種多様なニーズに対応するの開発及び観光WEBサ			1	着地型観光商品	開発事業	
事務事業の具体的内容		対する感染症対策の認証を			2	プラットフォーム設置に向け	けた取り組み地域資源活	用事業
[14]					3	くまモン活用地域資	資源創出業務委託	£事業

			R03年度決算	R04年度決算	R05年度決算	R06年度予算	全体計画
	事	国庫支出金	0	0	0	0	0
	業費	県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
	^ 千	受益者負担	0	0	0	0	0
	Ħ	その他	0	0	0	0	0
投 入	\sim	一般財源	2,045	2,045	17,909	3,100	0
		[16] 小 計	2,045	2,045	17,909	3,100	0
スト		職員人工数	0.29	0.45	0.62	0.00	
1	職人	職員の年間平均給与額(千円)	5,223	5,429	5,554	5,635	
	員件	会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00	
	の費	会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)	1,632	1,382	1,325	2,374	
		【17】 小 計	1,515	2,443	3,443	0	
		合 計	3,560	4,488	21,352	3,100	

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

3	事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R03実績	R04実績	R05実績	R06計画
1	「	観光客の滞在時間を延ばすため体験型の旅 行商品を開発する。	会議開催回数	口	4	5	3	4
2		観光案内WEBサイトタマてバコを活用した情報発信	情報発信回数		10	15	18	20
3	*****	くまモンを活用することで、観光客の増加・滞 在時間の延長による玉名市経済の発展、地域 の魅力向上を図ることを目的とする。	参画事業者数	軒	***	***	14	17

≪事務事業の成果≫ [19]

	成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R03目標	R04目標	R05目標	R06目標
	风木扫棕(总因0)数恒亿/	日 并 刀丛入16000 列		R03実績	R04実績	R05実績	
	1 着地型旅行商品参加者数(旬たまWEEK)	参加者数	1	200	100	500	650
	「個地全派1」間面参加有数(可によWEER)	多加有数 	^	13	603	619	
	2 着地型旅行商品数(旬たまWEEK)	商品数	本	15	17	18	15
_		同印数	4	15	12	10	

《事務事業の評価》

《 尹 /	《事務事業の評価》										
	評価視点			判断理由							
	【実施主体の妥当性】【20-1】		市が実施すべき								
	市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)。	-	市が実施する 必要はない	民間主体でできることが望ましい。							
必妥	【目的の妥当性】【20-2】		必要なし								
要当性性	社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直 しは必要でないか。		必要あり	目的に変化はない。							
C001	【休廃止の影響】【20-3】		影響なし	 市民生活に直ちに影響のあるものではないが、市内観光関連事業							
[20]	事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。		影響あり	者に影響がある可能性がある。							
	【目標の達成度】【21-1】		達成	一部未達成。民間事業者の人手不足により商品数増は難しい。							
有効	成果指標の目標は達成できたか。 未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。		未達成	一部木達成。氏间争未有の人十个足により間面数増は難しい。							
性	【細事業の適当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当		適当	B401-001 71.7							
[21]	日的(息図)を達成するため、神事未の構成は適当であるか。		不適当	目的に即している。							
	【コストの低減】【22-1】		余地なし	補助金を活用するなど、必要最低限の予算で実施している。							
	コストの低減について、検討の余地はないか。		余地あり	無助並を治用するなど、必要取仏版の予算で美施している。							
	【執行過程の見直し】【22-2】		余地なし	日本かナオで中佐していて							
効 率	執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)		余地あり	最適な方法で実施している。							
性	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はない		余地なし	最適な方法で実施している。							
F003	氏間のアクバラ活用について、検討の未地はないか。		余地あり	取週な力法で失施している。							
[22]	【類似事業との統合】【22-4】		余地なし								
	目的が類似する他の事業との統合について、検討 の余地はないか。		余地あり	類似事業なし。							
公 平			余地あり								
华 性 2 3)	徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額) について検討の余地はないか。 ■ 余地			受益者負担が望ましい物については導入していく。							

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

"	<i>タリ151/ス・ーウレンスジンスン・ヘ</i> 、ンホ	日本と7後の刀円圧/
育		(前回のふりかえりの内容) コロナ禍を経て多様化した観光客のニーズに応えるため、玉名ならではの着地型体験商品の開発・改善、宿泊施設の環境整備、観光案内サイトの充実を図り、国内外からの観光需要回復に備えたい。
		(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況) 着地型観光商品については、受入事業者の人員不足や高齢化が影響し、販売ができなくなった商品が出てきた。新しく販売開始したE-bikeレンタルの体験者数により、体験者数は前年度並みとなったものの、経済活動やイベントが通常に戻りつつあり、事業運営(本業)で忙しくされている事業者が多く、新規ブログラムの造成は厳しい状況である。
	今後の方向性 [25]	□ 拡充して継続 ■ 現状のまま継続 □ 縮小して継続 □ 執行方法の改善 □ 休止・廃止 □ 終了
	今後の方向性に対する	発信力のあるくまモンとコラボした「くまモンタウン玉名」事業にて今年度制作したくまモン像やガチャガチャなどを活用して、観光客が市内で楽しめる受け入れ態勢整備を進めていきたい。 H30年5月に開設した玉名市公式観光案内サイト「タマてバコ」については、コンテンツの追加や改修を検討していく。

	昨年度整備した「くまモンタウン玉名」のくまモン像やガチャガチャなどを活用して、観光客が市内で楽し	評価責	任者
評価責任者(課長)の所見	かるようさらに受け入れ態勢整備を進める必要がある。	伊藤	恵浩
[26]	or doing strain and st	אמת יעו	10×10

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称	/e	報発信事業		所管認	₹ [2]	観光	物産	課		
事務事業の有称 【1】	IH	拟尤后争木		作成者(担	当者)		髙田	一千 絹	哉		
		基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり							重点	/-
総合計画での位置付け		主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進							施領	<u> </u>
[3]		施策区分	(1)インバウンド事業の推進								該当
-14 - 15 lbs		市長公約									
実施の根拠 (複数回答可)		法令、県·市条例等	Ţ					1			
[5]		その他の計画【				1		■該	当な	L	
事業区分		ソフト事業	□ 義務的事業 □ 建設・整備	事業 🗆	施討	设の約	維持	管理事	業		
→ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		内部管理事務	□ 計画等の策定及び進捗管理事務								
会計区分 [7]		一般会計 🗆	特別·企業会計【	1	款	7	項	1 E	4	細目	7
≪事務事業の目的≫											

事務事業の実施背景(どの ような問題又はニーズがあ るのか) [8]	玉名市に数多くある観光資源をより多くの方に知っていただくために、イベントごとの観光プロモーションやメディア媒体を活用した情報発信を行い、玉名市の認知度向上を図る必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	観光客
	情報発信のための様々なツールを活用することで、玉名市の認知度向上を促し、県外からの観光客を誘客して集客 拡大と地域活性化を図る。

《事務事業の概要》

事業期間		単年度のみ	■ 単年度	繰返し			期間	限定複数年度			
争未朔间 【11】	[年度】	【 H17	年度から】		ľ		年度~	年度ま	きで】	
事業主体 [12]		国 □ 県	■市	□ 民間			そのイ	也【]
実施方法 【13】 □ 直営 □ 全部委託・請負 ■ 一部委託・請負 □ 補					補助金	金等交	付	□ その他【]
		L^ 1 144++	ウナ・ン・ペーン 大中佐-	+ 7 / C D + W + D		15]	事務	事業を構成する	細事業(6)本	
	ぶま	つりキャンペーン、9月	客キャンペーンを実施 ^っ 月キタクマアウトドアフェ 艮あったか物語、2月玉:	ス、11月玉名大俵	ま		1) 3	名・小天温泉再	始動プロジ	ェクト業務	孫委託
事務事業の具体的内容	市ホ		媒体を活用して各種イ ・等も活用して情報発信		. .	⇒	2 3	三名観光魅力 ア	'ップ事業		
[14]			を掲載するパンフレット				3 2	各種広告掲載 事	業		

			R03年度決算	R04年度決算	R05年度決算	R06年度予算	全体計画
	事	国庫支出金	0	0	0	0	0
	業費	県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
	~ 千	受益者負担	0	0	0	0	0
	円	その他	0	0	0	0	0
投 入	\sim	一般財源	6,513	7,144	12,582	8,085	0
		[16] 小 計	6,513	7,144	12,582	8,085	0
スト		職員人工数	0.38	0.35	0.49	0.49	
1	職人	職員の年間平均給与額(千円)	5,223	5,429	5,554	5,635	
	員件の費	会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00	
	の食	会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)	1,632	1,382	1,325	2,374	
		【17】 小 計	1,985	1,900	2,721	2,761	
		合 計	8,498	9,044	15,303	10,846	

≪事務事業の手段と活動指標≫ [18]

	事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R03実績	R04実績	R05実績	R06計画
(玉名・小天温泉再始動プロ ジェクト業務委託	ターゲット地域を中心に誘客 キャンペーンを実施	誘客活動回数	口	12	16	10	12
(2	11 未冬期光味力ドルノ半辛	市HPに情報掲載、民間HPに 情報提供	市HP情報掲載・民間HPへの情報 提供件数	件	60	80	78	85
	8 各種広告掲載事業	メディア媒体等で各種イベント 等を紹介	広告件数	件	30	34	40	45

《事務事業の成果》 [19]

	成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R03目標	R04目標	R05目標	R06目標
	汉末11宗(总囚切奴但11)	可异力应入场就仍	丰四	R03実績	R04実績	R05実績	
	観光客総入込客数	に報告した玉名市の観光統計の総	エレ	1500	2000	2000	2200
	凯儿谷祁八匹谷奴	入込客数	十八	1165	1528	1837	
ľ							

W 7- 2	労争来の評価》		
	評価視点		判断理由
	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施で	市が実施すべき	民間事業者の情報発信に加えて市として情報発信を行うことで相乗
	きないか。)。	市が実施する 必要はない	効果が期待できる。
必妥要当	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直	必要なし	目的に変化はない。
性性		必要あり	日 4 引 (文 1 6 1 8 4 8 0 *)
[20]	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はな	影響なし	市民生活に直ちに影響のあるものではないが、市内観光関連事業
[20]	事物事業を外並 - 廃血をじた場合、川氏に影音はないか。	影響あり	者に影響がある可能性がある。
	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。	達成	コロナ禍からの回復途中である。
有効	未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。	未達成	コロノ間がらく口及座すてめる。
性 【21】	【細事業の適当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当	適当	目的に即した細事業である。
[21]	であるか。	不適当	ロロコにいじた心事未でのる。
	【コストの低減】【22-1】	余地なし	予算内で、より効果がある媒体を厳選している。
	コストの低減について、検討の余地はないか。	余地あり	FAMILY OF OWN TO BE SEED OF THE SEED OF TH
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地は	余地なし	紙媒体での発信も依然必要ではあるものの、よりデジタル活用を検
効 率	ないか。(デジタル技術の導入など)	余地あり	討していく。
性	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はない	余地なし	玉名観光協会を軸に発信力を高める必要がある。
F003	か。	余地あり	上も成儿園女と神にたらりと同じるが女がめる。
[22]	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討	余地なし	類似事業なし
	の余地はないか。	余地あり	双似于木はし
公平	受益者負担について、検討の余地はないか。 徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)	余地あり	受益者負担は目的にそぐわない。
	は、	余地なし	大黒古 長には ロルバー(/ 1//みぃ 。

《削凹からのふり	<u> ツかえ ツギ</u>	<i>宿朱と守伎の万円性≫</i>
		(前回のふりかえりの内容)
前回のふりかえり	こ対して	今後ますますイベントが再開され、発信すべき情報も増えることが予想される。紙面・WEBでの情報発信、実際に出向いての誘客活動など、より効果的な情報発信に努める。
見直し・改善り	 大況	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)
		限られた予算の中で、無料の広告枠やPRの機会を活用しながら情報発信を行った。紙媒体については、イベントの実施時期などにより、パンフレットの消化状況が変わるため、部数や時期については今後も慎重に検討して無駄の無いように作成したい。
今後の方向	h //	□ 拡充して継続 ■ 現状のまま継続 □ 縮小して継続
ラ仮の方向	[25]	□ 執行方法の改善□ 休止・廃止 □ 終了
今後の方向性/ 見直し・改善の具	体的内容	イベントなどが再開され始めた令和4年度から、3年かけて観光総入込客数をコロナ禍前の220万人に戻すべく、各種事業に取り組み、情報発信にも努めている。入込客数は国内客、インバウンドともに回復傾向にあるため、令和6年度に目標を達成できるよう引き続き情報発信に取り組む。

	今後ますますイベントが再開され、発信すべき情報も増えることが予想される。紙面・WEBでの情報発信、実際に出向いての誘答活動など、より効果的な情報発信	計画具性	1
評価責任者(課長)の所見	に努める。		
	これまで同様、旅行雑誌などの広告媒体からSNSなどのインターネットを活用した情報発信が有効と考える。	伊藤 恵	浩 川
[26]	玉名市が運営する観光情報サイト「タマてバコ」を主軸に、今後さらに内容を充実させ、アクセス数を増やすことで広告費の削減につなげる必要がある。	17 18K 16A	/H

事務ふりかえりシート

《基本情報》

<u>《本华月秋》</u>														
事務事業の名称	+ ⊅	議会等連携・支援事業					所管課	[2	2] 7	観光物	勿産 課	1		
事務事業の石物 [1]	ו לולו	俄女守连伤 又饭争:	*			作成	者(担当	当者)	7	大倉	千寿			
		基本目標(章)	③賑わいと活力ある	産業づ	くり								重点	
総合計画での位置付け		主要施策(節)	(4)観光・物産プロヨ	E一ショ:	ンの推進								施策	[4]
[3]		施策区分	(2)着地型旅行商品	開発の	推進									核当
		市長公約												
実施の根拠 (複数回答可)		法令、県·市条例等	[]			
[5]		その他の計画【						2	1		該当	当なし		
事業区分		ソフト事業	□ 義務的事業		建設・整備	事業		施設	の斜	推持管	理事	業		
事未 占 力 【6】		内部管理事務	□ 計画等の策定及	び進捗	管理事務									
会計区分 [7]		一般会計 🗆	特別·企業会計【]	款	7	項 1	目	4	細目	8
《事務事業の目的》														
事務事業の実施背景(どの ような問題又はニーズがあ るのか) [8]	観け	光関連における九州 ながら、玉名市の観シ	域内の各種協議会と 光振興につなげていく	の連携 必要が	を図り情報を ある。	-共有する	3 とと も	に、財	政的	りある	いは、	人的	な支援を	を行
対象 (誰、何に対して、受益者等)	観	光客												

《事務事業の概要》

意図 (どのような状態にしたいか)

[9]

[10]

古光和目	□ 単年度の	み	■ 単年度	繰返し		期間	限定複数年度		
事業期間 【11】	【 年	度】	[H17	年度から】	[年度~	年度まで】	
事業主体 [12]	□国	□県	■市	□ 民間		その	他【]
実施方法 [13]	□ 直営	□ 全部委託·請	負 🗌 一部	『委託・請負 ■	補助金等交	を付	□ その他【]
					[15]	事務	寄業を構成する	細事業(14)本	;
	観光関連事業所スタ 温泉観光旅館協同組	客を受け入れるために、案 パッフの接遇及びおもてなし 組合等に対して補助金交付	カ向上を図るため や人的な支援を行	に、玉名観光協会及び3 うう。		1	あらたまツーリズ	ム協議会事業	
事務事業の具体的内容	・九州観光都市連盟・熊本県観光連盟と	連携するとともに、負担金を と連携するとともに、観光P 連携するとともに、負担金を 輸出支援協議会と連携する	R等の事業を推進 支出し、観光PR	する。 等の事業を推進する。	**	2	玉名観光協会事	業	
[14]	推進する。					3	玉名温泉活性化	事業	

観光関係の協議会等と連携を図り、支援をすることで、観光産業の振興を促し多くの観光客に来てもらう。

			R03年度決算	R04年度決算	R05年度決算	R06年度予算	全体計画
	事	国庫支出金	0	0	0	0	0
	業 費	県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
	~ 千	受益者負担	0	0	0	0	0
	円	その他	0	0	0	0	0
投 入	\sim	一般財源	20,900	30,044	23,442	24,942	0
		[16] 小 計	20,900	30,044	23,442	24,942	0
スト		職員人工数	0.45	0.68	0.64	0.64	
1	職人	職員の年間平均給与額(千円)	5,223	5,429	5,554	5,635	
	員件の費	会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00	
	の食	会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)	1,632	1,382	1,325	2,374	
		【17】 小 計	2,350	3,692	3,555	3,606	
		合 計	23,250	33,736	26,997	28,548	

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

I	事	孫事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R03実績	R04実績	R05実績	R06計画
		あらたまツーリズム協議会 事業	補助金交付・人的支援を実施することにより観 光振興を図る。	イベント開催回数	□	1	1	1	1
	2	1 美多和美拉拿多美	補助金交付・人的支援によるイベ ント実施や環境整備	イベント開催回数		0	0	2	2
I	3	1 未 冬 涅 忌 法 性 化 串 辛	県北の自治体と連携して観光 PRを実施する。	観光PR回数	回	4	2	3	5

≪事務事業の成果≫ [19]

	成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R03目標	R04目標	R05目標	R06目標
	汉末11宗(总囚0)数但亿/	可并乃及入场配列		R03実績	R04実績	R05実績	
	観光客数	県の観光統計による入込客数		1500	2000	2000	2000
	凯儿 合奴	宗の戦儿前間による八匹合奴	十八	1165	1528	1837	
Γ.	2 温泉旅館宿泊者数	 県の観光統計による宿泊客数	エレ	60	60	110	150
ľ	一	宗の戦儿礼前による旧石合教	十八	59	99	121	

/ 車致車巻の部/馬川

<u> </u>	《争務争来の計画》												
	評価視点			判断理由									
	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施で		市が実施すべき	民間による観光振興を促すため、市が負担すべき。									
	きないか。)。		市が実施する 必要はない	以前にある既儿派祭と促すため、前が長にすべて。									
必妥 要当	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直		必要なし	 社会情勢の変化により、目的が変化するものではないため。									
性性	しは必要でないか。		必要あり	社会情労の友ににより、自的が支にするものではないにの。									
[20]	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はな		影響なし	 交流人口の減少により、域内の消費が低下する。									
[20]	事物事業を外上・廃止をした場合、川氏に影音はないか。		影響あり	文派八日の威少により、域内の用真が眩げする。									
	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。		達成	 コロナ禍から回復途中であり、目標を達成することはできなかった。									
有 効	未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。		未達成	コーノ間のう日後を「この人」日孫と足及りもことになっている。									
性	【細事業の適当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当 であるか。		適当	各協議会と連携することで多くの誘客が図れるため細事業の構成									
[21]			不適当	は適当である。									
	【コストの低減】【22-1】		余地なし	適切に支出されており、削減の余地はない。									
	コストの低減について、検討の余地はないか。		余地あり	を到して田で40~00)、1978年7月18日8日8日 。									
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地は		余地なし	他地域と連携しているため、本市単独では検討できない。									
効 率	ないか。(デジタル技術の導入など)		余地あり	16.5.4.CE130.CO 0/200/(4/11)-13 C10(XII) CC.00 .									
性	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はない		余地なし	民間とすでに連携しており、ノウハウを活用する余地はある。									
F007	か。		余地あり	と同じがにたためでは、パング・・ファルボッの水心はので。									
[22]	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討		余地なし	類似する事業はない。									
	の余地はないか。		余地あり	スタンプネル・ひゃ。									
公 平	受益者負担について、検討の余地はないか。 徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)		余地あり	受益者負担を必要とするものではないため。									
性23]	について検討の余地はないか。		余地なし	ス=日東にとか女にする000 (16/60 /200)。									
<i>~~</i>	司かこのとりかえりは用しみ終の七向件へ												

─ 『川川からのかりかんり』	6米と7後のプリ注》								
	(前回のふりかえりの内容)								
前回のふりかえりに対して	令和4年度同様、観光アドバイザーと共に、各観光関連団体の改革を行い、意見を反映させながら進める。また、協議会事ま ついても、参画自治体と連携しながら継続していく。								
見直し・改善状況	回のふりかえりに対する見直し・改善状況)								
	観光アドバイザーが各観光関連団体や協議会の事業に参画することで、行政職員だけでは解決できない問題を解決すること ができた。								
今後の土白性	□ 拡充して継続 ■ 現状のまま継続 □ 縮小して継続								
今後の方向性 【25】	□ 執行方法の改善□ 休止・廃止 □ 終了								
	玉名観光協会事業に関しては、組織改革が行われたことで、今後、より連携を強化して事業を進めていくことが期待される。また、協議会事業についても、引き続き参画自治体と連携しながら継続していく。								

■評価責任者記入欄■

国内旅行需要・インパウンド需要など、全国旅行支援や県民割等の旅行産業への後押しで、都市圏観光地においては順調な回復を見せているものの、県北地域においてはまだまだ反応は鈍く、今後もより多くの観光客に県北観光の魅力をPRL、認知していただく必要があると考える。加えて本県においてはTSMCの進出に伴い、今後熊本県と台湾の往来が予想されることから、これまで以上に各種協議会構成自治体の親密な連携が必要になると考える。 評価責任者(課長)の所見

評価責任者 伊藤 恵浩

事務ふりかえりシート

《基本情報》

<u> </u>										
事務事業の名称	インバウンド推進事業			所管課	[2]	観光物産	課			
1]	-	ノハ ノント 正定事業			作成者(担当	当者)	竹ノ下			
		基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づく	(4)					重点	+
総合計画での位置付け		主要施策(節)	4)観光・物産プロモーションの推進						施策 [4]	
[3]		施策区分	(1)インバウンド事業の推進							該当
		市長公約								
実施の根拠 (複数回答可)		法令、県·市条例等	Ţ				1			
(5)		その他の計画【	観光振興計画]	口該	当なし	,	
事業区分		ソフト事業	□義務的事業□□	建設•整備導	事業 🗆	施設の	維持管理事	業		
事未込 力 【6】		内部管理事務	□ 計画等の策定及び進捗管	管理事務						
会計区分 [7]		一般会計 🗆	特別·企業会計【]	款 7	項 1 目	4	細目	17
《事務事業の目的》										

ハナッカナハマロニッパ	
事務事業の実施背景(どの ような問題又はニーズがあ るのか) [8]	人口減少による国内観光需要の増加が見込めり、予復は国の施東に伴い国内への外国人観光各の増加が予想される中において、当市への誘客を図るためプロモーションを実施する必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	外国人観光客
	ターゲット国に対するプロモーションを継続することにより、認知度向上を図り、その結果多くの外国人観光客が玉名を訪れることで経済効果を生み地域活性化を図る。

《事務事業の概要》

事業期間	□ 単年	度のみ	■ 単年度	繰返し		期	間限定複数年度		
争未朔间 【11】	ľ	年度】	[H28	年度から】	I	[年度~	年度まで】	
事業主体 [12]	□国	□県	■市	□ 民間		その	の他【]
実施方法 [13]	□ 直営	□ 全部委	託·請負 ■ 一部	『委託・請負 □ :	補助金等3	を付	□ その他【]
	. 地方创力	生加速化态研会及7	「推進交付金の両調	本車業の結果に其	[15]	事	務事業を構成する	細事業(3)本	
	いて、本市	市のインバウンドター	・推進文刊並の両調: -ゲット国である台湾 博出展や現地エージ	、香港をはじめ東ア	ジ	1	海外販路拡大事	業	
事務事業の具体的内容 	·玉名市		る。 客の受入れをサポー ぶ多言語に対応したも			2	インバウンド推進	基事業	
[14]	用する。	71、日左の1、成次で			-	3	玉名市・桃園マラ	ラソン交流事業	

			R03年度決算	R04年度決算	R05年度決算	R06年度予算	全体計画
	事	国庫支出金	0	0	0	0	0
	業費	県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
	 千	受益者負担	0	0	0	0	0
40	円	その他	0	0	0	0	0
投 入	\sim	一般財源	0	9,199	7,973	6,534	0
		[16] 小 計	0	9,199	7,973	6,534	0
スト		職員人工数	0.15	0.22	0.98	0.98	
1.	職人	職員の年間平均給与額(千円)	5,223	5,429	5,554	5,635	
	員件	会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00	
	の費	会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)	1,632	1,382	1,325	2,374	
		[17] 小 計	783	1,194	5,443	5,522	
		合 計	783	10,393	13,416	12,056	

≪事務事業の手段と活動指標≫ [18]

10	事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R03実績	R04実績	R05実績	R06計画
1		これまで地方創生推進交付金や自治体国際化協会の助成を受け実施し、一定の原果を残してきた海外服路拡大事業を持続可能なものとするため、既存輸出国での原路拡大及び新規輸出国の獲得を目指す。			0	3	2	4
2	インバウンド推進事業	いちごマラソン等イベントへの海外 からのツアー造成	商談回数、実施回数		0	2	5	6
3	玉名市・桃園マラソン交流 事業							

《事務事業の成果》 [19]

	成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R03目標	R04目標	R05目標	R06目標
	灰木田保(总色0)数但10/	11 并为从入16 机势		R03実績	R04実績	R05実績	
1	外国人宿泊者数	県の観光統計による外国人宿泊者数		1,500	500	1500	3500
Ľ	77国人旧石名奴	宗の観光机制によるが国人相石有数		161	738	3306	
2		海外販路開拓支援事業に取り組む市内事	千円	10,000	20,000	50,000	60000
_	/年77刊山 俊	業者の輸出額実績を聞き取りにて把握	1.13	42,850	47,483	54783	

** 	《争務争業の評価》							
	評価視点			判断理由				
	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施で		市が実施すべき					
	mが美施すべきであるが(氏値、NPOなどが美施できないか。)。		市が実施する 必要はない	市が主導して民間と協力して実施すべき				
必妥 要当	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直		必要なし	インバウンド需要が回復している社会情勢に即している				
性性	社会情勢の変化により、日的(対象・息図)の見直 しは必要でないか。		必要あり	インバンファ帝安が四後している仕去情労に即している				
[20]	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はな		影響なし	交流人口が減少することで、域内の消費が低下するなどの影響が				
[20]	事務事業を外土・廃止をした場合、印氏に影音はないか。		影響あり	考えられる				
	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。		達成	外国人宿泊者数、海外輸出額ともに目標を上回る実績を達成した				
有効	成朱有様の日標は達成できたか。 未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。		未達成	ア国八旧石石奴、海ア制山俄CDIC口標で工団の大順で足灰した				
性	【細事業の適当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当 であるか。		適当	目的に即した際事業である				
[21]			不適当	日のこのした歴事末である				
	【コストの低減】【22-1】		余地なし	最低限のコストにて実施している				
	コストの低減について、検討の余地はないか。		余地あり	及る限のコハロで失過している				
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地は		余地なし	実際の訪問に加え、WEB会議なども活用している				
効 率	ないか。(デジタル技術の導入など)		余地あり	大阪のJiplicant、WED公職など O/Iniioでいる				
性	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はない		余地なし	民間事業者と連携して実施している				
F003	か。		余地あり	民間事業品に建勝して大胆して ************************************				
[22]	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討		余地なし	類似事業なし				
	日的が類似する他の事業との続日に りいて、検討 の余地はないか。		余地あり	双内ず木なし				
公平	受益者負担について、検討の余地はないか。 徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)		余地あり	受益者負担は事業目的に沿わない				
性23	はなど打っている場合は、負担が年(対象・並領)について検討の余地はないか。		余地なし	ス無・ロ 又に1のず木口 P コ に 10 1 / 20 V ・				

《前回からの) <i>ふりかえり</i>	結果と今後の方向性≫
		(前回のふりかえりの内容)
前回のふりかえり 見直し・改善	えりに対して	場外原路は大事業については、地方衛生財産支付金や一般財団法人自治体国際化協会の助尿を受けてこれまで実施し、初めて輸出に挑戦した生産者・事業者、原間に販路を拡大している生産者・事業者、海外振路に挑戦し改めて国内市場をター ゲットにする極度等・事業者、心式機と理難が明めったとってきた。 や物はこれまでの原果に関連を整理するととはに、一般財産のみの事業で予算も限られた中での実施となるが、国や各国団体の活用できそうな補助事業を随時確認しながら事業規模を拡大することも提野に入れる。 生産者・事業者との情報共有を密制に行い信頼関係を採回には、これまで原語に増加してきている情出額を含らに増加させる。 観覚については、TSMの適出もあり台湾かごれまでよがも更に重要なターゲット風となっているため、方を入れて顕客活動を行っていきたい。
	x善状況	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)
	[24]	海外振路拡大事業については、熊本県旅路拡大ビジネス環とも連携し、香港からバイヤーやシェアを招へいし、事業費を抑えながら効果的に玉名彦島のPRを行い、新たにミシュラン星持ちの飲食店と新規取引を行うなどの成果を残し、輸出係も目標 を超える実績を持てことが出来た。また、令和6年度に向けて熊本県の地域づび男子ャレンジ連進事業無物金に申請し、交付炭を受けたことにより、令和6年度は事業規模を拡大し、更なる旅路拡大と認知度向上に向けて事業を推進する。 インパンシド権主事業については、コロナ市と同程度のベンパンケン系スを自用し規葉がよってデンソン大会参加アンデーを実施した。ツアー参加者は10名(大人9人・小人1人)と小規模であったものの、令和6年度実施予定の国際芸術祭へと繋がる結果を 得られたため、引き続き現地エージェントとの関係性構築及びツアー参加者増加に向けて国外誘客へ力を入れていく。
今後のこ	七句件	┃□ 拡充して継続 ■ 現状のまま継続 □ 縮小して継続
フ扱の人	(25 <u>)</u> [25]	□ 執行方法の改善□ 休止・廃止 □ 終了
	向性に対する ・の具体的内容	海外販路拡大事業においては、玉名の特産品の輸出において風穴を空けた地域からの誘客にも取り組む。具体的には香港の熊本県アンテナショップである櫓杏と連携し、料理長と常連客が産地を視察しながらツアーを実施し、生産者との交流を行いながら食材を味わうことで、産地のファンになってもらうことで、交流人口の増加にも取り組む。 第44回横島いちごマラソン大会に伴うインバウンドツアー受入を実施。新型コロナウイルス感染症は制限緩和されたが、海外渡航に抵抗があるとのことで今年は10人の参加を受け入れ、ツアー前日は歓迎パーティーを実施した。又、トップセールスの際に繋がりができた桃園市及び竹北市とも今後の交流を図りたい。

海外販路拡大事業については、熊本県阪路拡大ビジネス課とも連携し、香港からバイヤーやシェフを招へいし新規取引を行うなどの成果を残し、輸出額も目標を超	評価責任者
える実績を残すことが出来た。今後も事業規模を拡大し、更なる販路拡大と認知度向上に向けて事業を推進する必要がある。 インパウンド推進事業については、引き続き現地エージェントとの関係性構築及びツアー参加者増加に向けて国外誘答を図る必要がある。	伊藤 恵浩

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称	玉名版DMO構築事業		所管課 [2]	観光物産課
争伤争未の右が 【1】	玉石版DMO博樂事業		作成者(担当者)	髙田 千織
	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり		重点
総合計画での位置付け	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進		施策 [4]
[3]	施策区分	(4)玉名版DMOの構築		口該当
	□ 市長公約			
実施の根拠 (複数回答可)	□ 法令、県·市条例等	Ţ]
	■ その他の計画【	玉名市デジタル田園都市構想総合戦略	1	□ 該当なし
事業区分	■ ソフト事業	□ 義務的事業 □ 建設・整備署	事業 □ 施設の	維持管理事業
事来区方 【6】	□ 内部管理事務	□ 計画等の策定及び進捗管理事務		
会計区分 [7]	■ 一般会計 □	特別·企業会計【	】 款 7	項 1 目 4 細目 18
《事務事業の目的》				
事務事業の実施背景(どの	日中の佐尓恵西 杉仲の	********* ++ + + + + + + + + + + + + +	' 47 i文 45.4、1号 4. ナ 1まこよ	サーけ (4の444)この 立
ような問題又はニーズがあ	国内の旅行需安か仲し	「悩やむなか、また定住人口の減少による 間の経営手法を取り入れた観光地域づくし		
るのか) 【8】	·			
11. 4 2				
対象 (誰、何に対して、受益者等)	(一社)玉名観光協会及	び観光関連事業者		
[9]				
*				
意図 (どのような状態にしたいか)	本市の観光振興の推進	経母体である玉名観光協会を軸に、観光均	也域づくりの舵取り役とし	た推進体制の構築を図る。
[10]				
《事務事業の概要》				
事業期間	□ 単年度のみ	■ 単年度繰返し	□ 期間限定複数學	丰 度
事未規則 【11】	【 年度】	【 H28 年度から】	【 年度~	年度まで】
事業主体 [12]	□国□県	■ 市 □ 民間	□ その他【]
実施方法 [13]	■ 直営 □ 全部	『委託・請負 □ 一部委託・請負 □ 補助	助金等交付 □ その	の他【 】
			【15】 事務事業を構成	
	観光を切り口として交流人	口を増加させるため、玉名観光協会を母体と	① 地域活性化	心起業人制度事業
事務事業の具体的内容 事務事業の具体的内容	してDMOの構築を図る。	令和3年度からは企業で培われた人脈やノウ		
/ / / /	ハウのある人材を活用し地 出する。	b域活性化を図るとともに「ひと」の流れを創	2	
7147				

		X	R03年度決算	R04年度決算	R05年度決算	R06年度予算	全体計画	
	事	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	業 費	県支出金	0	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	0	
	 千	受益者負担	0	0	0	0	0	
	円	その他	0	0	0	0	0	
投 入	\sim	一般財源	6,133	13,200	13,200	7,818	0	
		[16] 小 計	6,133	13,200	13,200	7,818	0	
スト		職員人工数	0.15	0.20	0.31	0.31		
1	職人	職員の年間平均給与額(千円)	5,223	5,429	5,554	5,635		
	員件	会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00		
	の貧	の費	会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)	1,632	1,382	1,325	2,374	
		【17】 小 計	783	1,086	1,722	1,747		
		合 計	6,916	14,286	14,922	9,565		

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

	事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R03実績	R04実績	R05実績	R06計画
(1		観光協会組織改革会議や市及び各種協議会 が実施する会議に参加し、助言提言を行う。	会議参加数	回	68	77	104	60
2								
(3								

≪事務事業の成果≫ [19]

	成果指標(意図の数値化)		計算方法又は説明	単位	R03目標	R04目標	R05目標	R06目標
			可昇力法又は武功	丰四	R03実績	R04実績	R05実績	
	1 玉名観光協会会員数		会員数		62	61	65	68
	工石纸儿励:	五五貝奴	云貝 奴	^	61	62	66	
	2 地域活性化起業人が会議に参加した		会議参加数	*	ı	100	80	60
		也未八川、云磁に参加した奴	五戒 沙川	4	68	77	104	

// 車数車巻の評価 ※

	多学<i>未の計画ル</i> 評価視点			判断理由
	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施で	•	市が実施すべき	自治体向けの総務省の制度を活用した事業である。
	きないか。)。		市が実施する 必要はない	日が下げいのかはのでは、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに
必妥要当	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直		必要なし	目的に変化はない
性性	しは必要でないか。		必要あり	1110×1010×100
[20]	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はな		影響なし	 交流人口の減少による消費力低下が考えられる。
[20]	いか。		影響あり	スルスログ減少にある消費力度下が考えられる。
	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。		達成	コロナ禍後に動き出した事業も多く、活躍の場が増えた。
有効	未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。		未達成	コーノ 同族に対こ田 ひにず木 0岁 八 / 旧座の 物の 名だに。
性	【細事業の適当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当		適当	目的に即している
[21]	であるか。		不適当	HIJCA/OCT D
	【コストの低減】【22-1】		余地なし	 総務省の交付金対象事業である
	コストの低減について、検討の余地はないか。		余地あり	1000 E V V I E V V E V E V E V E V E V E V E
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地は		余地なし	十分検討して実施している
効 率	ないか。(デジタル技術の導入など)		余地あり	7.772410 (2.786) (4.4
性	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はない		余地なし	 十分に活用している
F003	か。		余地あり	7 71-11/110 ()
[22]	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討		余地なし	 類似事業なし
	の余地はないか。		余地あり	双のサネなし
公 平	受益者負担について、検討の余地はないか。 徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)		余地あり	受益者負担は目的にそぐわない
性23	はなど行うでいる場合は、資産が平く対象・並供がについて検討の余地はないか。		余地なし	ス.血 日 天がらの 日 4 川で C トインの V

«	<i>前回からのふりかえり</i> ネ	結果と今後の方向性≫
Ē	可についいうかったうについって	(前回のふりかえりの内容) 総務省の地域活性化起業人制度により事業費は特別交付税措置の対象となっており、費用対効果を考えても大変有益な事業である。コロナ禍が収束に向かい多くの企業が人員不足となっているため、新たな人材派遣は厳しくなると思うが、今後も制度を活用して地域活性化に取り組んでいきたい。
		(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況) 地域活性化起業人制度の活用を初めて3年が経ち、玉名観光協会や広域にまたがる協議会の会議に出て助言をいただいたり、実際の活動に関わっていただいたりする中で、地元観光事業者や近隣自治体の観光担当者から起業人への信頼が高まっている。企業の人員不足により新たな人材派遣については難しいが、現在の二人の起業人の活動は、玉名市の観光振興に大きな効果をもたらしていると考える。
	今後の方向性 【25】	□ 拡充して継続 ■ 現状のまま継続 □ 縮小して継続 □ 執行方法の改善 □ 休止・廃止 □ 終了
	見直し・改善の具体的内容	令和5年度で2人の起業人の内一人が任期満了で派遣終了となった。コロナが第5類に分類され、経済活動が活発になる中で企業では人員不足が課題となっており、 新たな人材派遣については難しいと思われる。玉名市の観光の担い手を育成するため、企業からではなく、都市圏から個人を募集する地域おこし協力隊制度の活用 を検討したい。 また、組織改革に取り組んできた玉名観光協会においては、令和6年度より事務局を観光物産課と同じフロアに移して、これまで以上に連携を強め、協働して観光事業 に取り組みたきなるス

■評価責任者記入欄■

神域活性化起業人には地元事業者とも積極的に関わっていただいており、引き続き地域活性化起業人と協力して玉名市観光政策の実現に向けて強化を図る必要がある。 DMOは観光で稼ぐカ(ノウハウ)を民間団体へ指導する立場であるが、DMOの指導実績が見出せていないことから、母体となる玉名観 光協会への指導、助言を含め組織改革、事業の見直しを図る必要がある。 評価責任者 伊藤 恵浩

事務ふりかえりシート

《基本情報》

<u> </u>									
事務事業の名称	소	栗四三PR事業			所管課	[2]	観光物	勿産課	
事務事業の有称 【1】	31	未四二 ^{厂(}			作成者(担	当者)	牧野	恵大	
		基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり						重点
総合計画での位置付け 【3】		主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進	隹					施策 [4]
		施策区分							□ 該当
		市長公約							
実施の根拠 (複数回答可)		法令、県·市条例等	ľ]	
(5)		その他の計画【]		〕該当な	:L
声类反 八		ソフト事業	□ 義務的事業 □ 建設·ቜ	を備す	事業 🗆	施設の	維持管	理事業	
事業区分 【6】		内部管理事務	□ 計画等の策定及び進捗管理事	務					
会計区分 [7]		一般会計 🗆	特別·企業会計【]	款 7	項 1	1 目 7	細目 2
《事務事業の目的》									
事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) [8]	い い	河ドラマの影響を一並 くことが必要となってし	過性にしないために、金栗四三氏のり いる。	力績 る	を広く周知し、金	:栗スピリ	ット及で	びレガシ-	ーを継承して
対象 (誰、何に対して、受益者等) 「01		民、観光客、全国のマ	アラソン関係者						

《事務事業の概要》

[10]

市米 加目	□ 単年度のみ	■ 単年度繰返し	□期	間限定複数年度	
事業期間 【11】	【 年度】	【 H29 年度から】	[年度~	年度まで】
事業主体 [12]		県 ■ 市 □ 民間	□ そ	の他【]
実施方法 [13]	□ 直営 □ :	全部委託·請負 ■ 一部委託·請負 □ 補	助金等交付	□ その他【]
			【15】 事	務事業を構成する	細事業(3)本
	贈呈する等、金栗氏とゆかりの2 大河ドラマ「いだてん」協議	:が成し遂げた偉業の更なる磨き上げのため、金栗トロフィーを)ある自治体や団体などとの連携の強化を図る。 会業務…金栗スピリットを軸に、金栗氏仲かりの地、市内の観: なぎ、新しい観光誘客の魅力を創造するため、金栗レガシーの1	1	金栗四三PR業務	<u> </u>
事務事業の具体的内容	り起こしならびに「スポーツ」「ウ 3 住家等管理運営委託業務・	はさ、新しい観光院各の魅力を制造するだめ、並来レカシーの行 ウェルネス「教育」の3つの玉名型ツーリズムを推進する。 …小田地区金栗四三仲かりの地保存会に住家・資料館等の管 行うことによって、訪問者並びに近隆住民の交通等の利便性に		大河ドラマ「いだっ	てん」協議会業務
[14]	上を図る。			住家等管理運営	委託業務

意図 金栗氏とゆかりのある自治体や団体などとの連携の強化を行い、同氏及び市の認知度向上や経済、交流人口の活性のような状態にしたいか) 性化等を図る。

			R03年度決算	R04年度決算	R05年度決算	R06年度予算	全体計画
	事	国庫支出金	0	0	0	0	0
	業 費	県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
	^ 千	受益者負担	0	0	0	0	0
	円	その他	0	0	0	0	0
投 入	\sim	一般財源	14,868	16,158	16,116	22,128	0
		【16】 小 計	14,868	16,158	16,116	22,128	0
スト		職員人工数	2.00	1.11	1.11	2.00	
Ι .	職人	職員の年間平均給与額(千円)	5,223	5,429	5,554	5,635	
	員件の費	会計年度任用職員人工数	0.00	0.77	0.77	0.00	
	の食	会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)	1,632	1,382	1,325	2,374	
		【17】 小 計	10,446	7,090	7,185	11,270	
		合 計	25,314	23,248	23,301	33,398	

≪事務事業の手段と活動指標≫ [18]

事	務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R03実績	R04実績	R05実績	R06計画
1	金栗四三PR業務	ゆかりのある大会や自治体への金栗トロフィー 贈呈やゆかりのある学校を訪問するなど、連 携の強化を図る。	連携団体数	団体	10	8	6	7
2	入州ドブマー いっこい J 励誠 企業変	金栗氏のゆかりの地である住家やお墓等の周 辺整備を行い、訪問者並びに近隣住民の利便 性向上を図る。			30	32	42	-
3		3つの玉名型ツーリズム関連事業の遂行及び イベントを開催する。	イベント開催数	回	7	6	7	5

《事務事業の成果》 [19]

	成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R03目標	R04目標	R05目標	R06目標
	风木扫棕(总因0)数恒化/	可异力应入场就仍		R03実績	R04実績	R05実績	
	制光入込客数	交流人口の増加人数 (入込観光客数)	千人	2500	2500	2500	2500
	1			1165	1528	1837	
	2 金栗四三翁住家・資料館入込客数	毎月月末報告	ı	1500	1500	1500	2000
-	2 並未四二羽任外 - 貝科貼八匹合奴	毋月月不報日 		1379	1355	1947	

《事務事業の評価》										
	評価視点		判断理由							
	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施で		市が実施すべき	本事業を行う者が他になく、市が主導して民間と協力して実施すべ						
	inが実施すべるであるが(氏面、NPOなどが実施できないか。)。		市が実施する 必要はない	き。 						
必妥要当	社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直		必要なし	大河ドラマから4年経過しているので、目的を見直す余地はある。						
性性			必要あり	ストライルの子午任題しているので、日間を元直を示地はのる。						
[20]	事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はな		影響なし	交流人口が減少することが見込まれる。						
[20]			影響あり	- X 加入口が減少りのCCか兄处まれる。 						
	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。 未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。		達成	新型コロナの影響のため。						
有効			未達成	刺生コロナの影音のため。						
性	【細事業の適当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当 であるか。		適当	目的に即した細事業である。						
[21]			不適当	日はいこかした心事末である。						
	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。		余地なし	事業を改めて見直し、他部署と連携して実施できることは、予算削						
			余地あり	減を図る。						
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)		余地なし	現況での導入は難しい。						
効 率			余地あり	が、この、守八はな地しい。						
性	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。		余地なし	民間事業者と連携して実施している。						
700 3			余地あり	以間事来自己是150 C大池0 CV で。						
[22]	【類似事業との統合】 【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討		余地なし	教育分野と関連できる余地はある。						
	の余地はないか。		余地あり	教育が野に困难できるが心はめる。						
公平	受益者負担について、検討の余地はないか。 徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)		余地あり	負担に見合う対価を検討する必要がある。						
· 性 (123)			余地なし	又にてルロフが呼らればするが女がのの。						

«	<i>前回からのふりかてり</i>	結果と今後の万何性≫
前回のふりかえりに対して 見直し・改善状況		(前回のふりかえりの内容) 引き続き、地元及び他団体との連携を図りつつ金栗スピリットを継承し、玉名市及び金栗翁の認知度向上に努める。また、いだ てん協議会での委託事業が3年計画の3年目を迎え、R5をもって協議会は終了する。次年度以降の事業については、協議会で 実施していた事業を当市で実施する事業に集約し、他部署との連携・調整を図りながら取り組みを行っていく必要がある。
		(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況) いだてん協議会は令和5年度をもって終了した。今年度以降の事業については、協議会で実施していた事業を当市で実施する 事業に集約し、他部署との連携・調整を図りながら取り組みを行っていく。
	今後の方向性 【25】	□ 拡充して継続□ 協小して継続■ 執行方法の改善□ 休止・廃止□ 終了
	今後の方向性に対する	引き続き、地元及び他団体との連携を図りつつ金栗スピリットを継承し、玉名市及び金栗翁の認知度向上に努める。また、今年度はストックホルムマラソン等に参加し金栗トロフィーを贈呈する等、金栗氏とゆかりのある自治体や団体などとの国内だけではなく、国外との連携を強める。3つのツーリズム事業については、協議会で実施していた事業を当市で実施する事業に集約し、他部署との連携・調整を図りながら取り組みを行っていく必要がある。

	今後の事業については、協議会で実施していた事業を当市で実施する事業に集約し、他部署との連携・	計画見	見江伯
			∔ ¥
[26]	調整を図りながら取り組みを行っていく必要があると考える。	伊藤	恵浩